令和 7 年版

消　防　年　報



豊後高田市消防本部

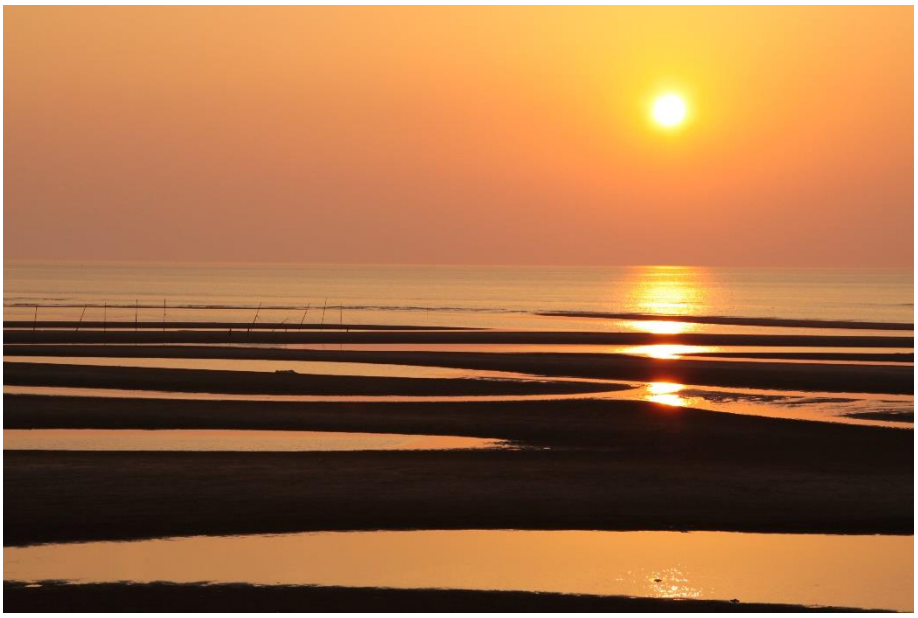
＜令和 8 年刊行＞

は　じ　め　に

この消防年報は、令和７年（度）中における、豊後高田市の消防概況及び業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

消防関係機関はもとより，広くあらゆる方面でご活用いただき，本市消防行政をご理解いただく一助となれば幸いです。

令和８年１０月
豊後高田市消防本部



凡　例

１　この年報は、豊後高田市の消防防災の全般にわたる基礎的な統計資料を収録しています。

２　統計表の「年中」とあるのは、暦年（１月１日から１２月３１日）、「年度」とあるのは、（４月１日から翌年３月３１日）を表すものです。

３　各統計表の符号の用法は、次のとおりです。

「－」　・・・・・　該当なし

目　　　　次

■１　概　要

１－１　位置・地勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
１－２　管内面積・人口・世帯数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
１－３　管内配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
１－４　消防本部及び消防署等の所在地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
１－５　沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
１－６　歴代消防長・消防署長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

■２　総　務

２－１　消防本部・消防署機構図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
２－２　事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
２－３　豊後高田市災害対策本部組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
２－４　豊後高田市災害対策本部事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
２－５　消防庁舎の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
２－６　消防予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
２－７　職員配置表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
２－８　職員の条例定数及び階級別実員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
２－９　職員勤続年数表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
２－10　職員年齢構成表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
２－11　各種資格取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
２－12　消防職員表彰受賞状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
２－13　職員の消防学校・消防大学校等入校状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

■３　予　防

３－１　防火対象物の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
３－２　消防用設備等設置件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
３－３　予防関係届出処理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
３－４　防火管理の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
３－５　建築確認用途別申請内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
３－６　防火対象物の立入検査実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
３－７　危険物施設数と倍数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
３－８　危険物施設数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
３－９　危険物規制許認可事務処理状況、危険物製造所等の手数料収入状況・ 46
３－10　危険物関係申請・届出受理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
３－11　危険物施設の立入検査実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

■４　警　防

４－１　消防車両の配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
４－２　通信設備一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
４－３　消防無線局一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
４－４　消防・救急資機材の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
４－５　消防水利の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
４－６　警防関係各種届出事務処理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
４－７　相互応援協定等締結状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57

■５　火災統計

５－１　火災の概要、損害額の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
５－２　火災による死者の状況、火災による負傷者の状況・・・・・・・・・・・・ 60
５－３　出火原因別火災発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
５－４　用途別・月別火災発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
５－５　種別・時間別火災発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
５－６　曜日別火災発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64

■６　救急統計

６－１　救急出動の推移、事故種別発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
６－２　曜日別、月別出動件数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
６－３　搬送人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
６－４　時間別出動件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
６－５　傷病程度別搬送状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
６－６　医療機関搬送先件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
６－７　救急隊員の行った応急処置件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
６－８　救急隊員の資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
６－９　応急手当普及啓発活動実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

■７　救助統計

７－１　救助出動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
７―２　事故種別救助活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
７―３　地区別出動件数及び救助人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
７―４　月別出場件数及び救助人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
７―５　救助隊が使用する主な保有資機材・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
７―６　救助隊の教育訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
７―７　大分県救助大会の出場状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78

■８　消防団

８－１　歴代消防団長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
８－２　機構図・組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
８－３　名称・位置・管轄区域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
８－４　消防車両配備状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
８―５　消防団員条例定数及び実員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
８－６　消防団別勤務年数表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
８－７　消防団員年齢表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
８－８　消防団員表彰受賞状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
８－９　消防団員の消防学校等入校状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
８－10　階級別消防団員報酬・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
８－11　消防団相互応援協定締結状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90

■９　資料編

歴代全国統一防火標語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
気象観測情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
緊急消防援助隊編成表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
ＡＥＤの設置状況①　公的施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
ＡＥＤの設置状況②　民間事業所等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
市指定避難所・避難場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
津波避難ビル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
福祉避難所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101

概　要



１　概　要

１－１　位置・地勢

大分県行政図



東　　経	１３１度２６分５０秒
北　　緯	３３度３３分２２秒
北　　西	１７．１ｋｍ
南　　北	２３．２ｋｍ
海 岸 線	１６．２ｋｍ
面　　積	２０６．２ｋ㎡

当消防本部は、大分県の北東部、国東半島の西側に位置し、東経131°26、北緯33°33’、東西の距離17.1km、南北の距離23.2km、総面積は206.22㎢で、北は周防灘に面し、豊かな自然と温暖で過ごしやすい瀬戸内式気候に属し、年間の平均気温は15.9℃、平均降雨量は1,457.4㎜と温暖少雨で農作物の栽培にも適した環境に恵まれています。

当管内の東部から南部にかけては、ハジカミ山、尻付山、屋山、両子山や日本三叡山に数えられる西叡山等の山々が連なり、国東半島のほぼ中央の両子山から、放射状に延びた谷や峰々の谷間を桂川、真玉川、竹田川等が走り、河口付近に市街地が形成されています。

市土に占める森林面積の割合は56.8%と高く、市の東側や南側には、瀬戸内海国立公園や国東半島県立自然公園を擁し、市街地は市の南側を流れる桂川の河口付近に形成され、東に国東市、杵築市、南に宇佐市と接し、西は当管内の海岸部で国道２１３号線が走る風光明媚なリアス式海岸と遠浅の海で、海水浴場、キャンプ場、温泉が点在し、魚介類の宝庫として恩恵に浴しています。

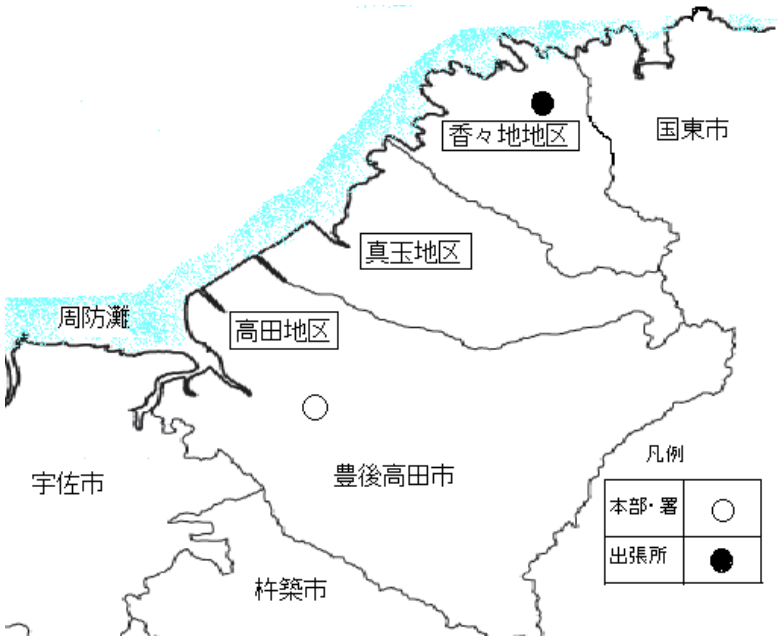
また、当管内は、古くは奈良時代から宇佐神宮の影響を強く受け、平安時代には宇佐神宮の荘園となり、独自の山岳仏教文化「六郷満山文化」が栄え、国宝（富貴寺）をはじめ数々の歴史的遺跡が点在する地域です。鎌倉時代から戦国時代までの間は海路交通による関西方面との交流が盛んであったため、国東半島地域の武士団の瀬戸内海への本拠地となっていました。また明治以降においては関門地域への内海航路の拠点として西瀬戸地域の交流の結節点の役割を果たしてきました。平成17年3月31日には、旧豊後高田市、真玉町、香々地町の1市2町が合併し、新市、豊後高田市が誕生しました。

１－２　管内面積・人口・世帯数

令和 8 年 3 月 31 日現在

署　所　名	地　区　名	人口（人）	世帯数（世帯）	管内面積（㎢）
本　　署	高田地区	16,363	8,340	124.19
	真玉地区	2,802	1,496	44.38
香々地出張所	香々地地区	2,267	1,248	37.65
合　　計		21,432	11,084	206.22

１－３　管内配置図



１－４　消防本部及び消防署等の所在地

名　　称	所　在　地	電話番号 ＦＡＸ番号
豊後高田市消防本部 豊後高田市消防署	〒879-0605 大分県豊後高田市御玉 147 番地	(0978) 22-3108 (0978) 22-3542
豊後高田市消防署 香々地出張所	〒872-1207 大分県豊後高田市見目 116 番地 1	(0978) 23-2822 (0978) 23-2823

１－５　沿　革

年　　表	出　　来　　事
昭和 45.11. 1 （1970 年）	高田地区救急業務事務組合設立 豊後高田市・真玉町・香々地町・大田村の 1 市 2 町 1 村で救急業務を開設
昭和 45.11. 1 （1970 年）	救急車（ニッサン B 型級）を豊後高田ロータリークラブから寄贈
昭和 45.11. 1 （1970 年）	職員採用 6 人、市消防本部から 2 人出向、署長・庶務（定数 11 人）救急組合 8 人にて救急活動始動
昭和 46. 3.23（1971 年）	移動局 1 基増設（救急車）（移動局　計 3 基）
昭和 47.10.21（1972 年）	消防一部事務組合設立要望書提出
昭和 47.11.15（1972 年）	消防一部事務組合設立委員会発足
昭和 48. 3. 3（1973 年）	関係市町村議会議決（豊後高田市・真玉町・香々地町）
昭和 48. 3.15（1973 年）	高田地域消防組合設立許可 第 1 回消防組合議会開催
昭和 48. 4. 1（1973 年）	高田地域消防組合開設消防・救急業務を豊後高田市・真玉町・香々地町・大田村の 1 市 2 町 1 村で共同処理するため発足実働を開始
昭和 48. 4. 1（1973 年）	消防ポンプ自動車（ニッサン BD-1 型 A-2 級）真玉町から寄贈
昭和 48. 4.21（1973 年）	定数改正～職員採用 10 人（市から 5 人、新採用 5 人）（計 39 人）
昭和 48. 6.30（1973 年）	広報車（ミツビシバン 1600cc）を日本消防協会から寄贈
昭和 51. 3.10（1976 年）	消防ポンプ自動車（トヨタ BD-1 型 A-1 級）日本損害保険協会から寄贈
昭和 51. 3.31（1976 年）	大分県常備消防相互応援協定締結
昭和 51.11.27（1976 年）	救急車（ニッサン 2B 型）を日本自動車工業会から寄贈
昭和 54. 4. 1（1979 年）	職員採用１人（欠員補充）実員 39 人
昭和 55. 8.28（1980 年）	職員採用１人（欠員補充）実員 39 人
昭和 56.12.17（1981 年）	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ1-A 型　A-2 級）購入
昭和 57. 4. 1（1982 年）	職員採用 3 人（定数条例改正）（定数 42 人、実員 41 人）
昭和 58. 3.25（1983 年）	救急車（トヨタ 2B 型）を日本自動車工業会から寄贈
昭和 58. 4. 1（1983 年）	職員採用１人（欠員補充）（定数 42 人、実員 42 人）
昭和 61. 3.25（1986 年）	指令車（トヨタバン 2000cc）（株）佐々木食品から寄贈
昭和 61.11.26（1986 年）	消防ポンプ自動車（いすゞCD-1 型 A-2 級）更新
昭和 61.11.27（1986 年）	広報車（トヨタバン 1500cc）更新
昭和 62. 4. 1（1987 年）	豊後高田市財務規則の改正により、票簿会計の実施
昭和 62. 8.20（1987 年）	査察車（トヨタバン 1500cc）、充填機、軽可搬　日本消防協会事業船舶振興会から寄贈
昭和 62.10　（1987 年）	大分県総合防災訓練実施（美和工業団地）
昭和 63. 4. 1（1988 年）	職員採用 2 人（欠員補充）

昭和 63.12.27（1988 年）	救急車（トヨタ 2B 型）日本損害保険協会から寄贈（更新）
平成元. 4. 1（1989 年）	職員採用 1 人（欠員補充）
平成元. 9. 8（1989 年）	消防ポンプ自動車（いすゞＣＤ－１CD-1 型 A-2 級）4WD 更新
平成元. 9.15（1989 年）	署内改装工事（待機室、通信室等）　Ｈ元.10.31 完成
平成 2. 3.14（1990 年）	救助隊編成（隊員 13 人）
平成 2.11.26（1990 年）	高圧ガス製造許可申請（12/12）コンプレッサー
平成 3. 1. 9（1991 年）	救助工作車（日野Ⅱ型ウインチ付）、救助資機材一式
平成 3. 1.21（1991 年）	無線局空中線新設工事　H3.3.20 完成
平成 3. 3.25（1991 年）	新庁舎（御玉 147 番地、仮庁舎）へ移転（市庁舎から）
平成 3. 4.23（1991 年）	無線局住所変更許可（御玉 147 番地）
平成 3. 4.30（1991 年）	事務所の位置変更許可（大字御玉 147 番地）県知事
平成 3. 6. 3（1991 年）	ミニ消防車 S53 年式スズキジムニー（4WD）を改造 （ストッピー君と命名）3 軽検大分改造第 9 号　車検 6/6
平成 3. 8.25（1991 年）	訓練塔建設完成 H4.2.14（補助事業・地方債借入） 主塔～鉄筋コンクリート 5 階建、高さ 17.75m 延面積 212.48 ㎡地下防火水槽貯水量 50.64 ㎥ 副塔～鉄骨 2 階建、高さ 10m、延面積 50 ㎡ 1 階車庫
平成 4. 4. 1（1992 年）	職員採用 1 人（欠員補充）
平成 4. 8.19（1992 年）	防火・防災用品交付式（日本消防協会）
平成 4. 9. 4（1992 年）	防火広報車（いすゞバン 2000cc）防火号を日本防火協会から寄贈
平成 5. 3. 1（1993 年）	大分県高度情報ネットワークシステム端末装置一式購入
平成 5. 4. 1（1993 年）	職員採用 2 人（定数 48 人、実員 44 人）
平成 6. 3.28（1994 年）	防災用砂置場設置　4m×17m=68 ㎡ 貯蔵量 50 ㎥
平成 7. 4. 1（1995 年）	職員採用 2 人、補充 4 人（定数 48 人、実員 46 人）
平成 8. 4. 1（1996 年）	職員採用 2 人、欠員補充 1 人（定数 48 人、実員 47 人）
平成 8. 9.19（1996 年）	消防職員委員会規則の制定
平成 9. 4. 1（1997 年）	職員採用 1 人（欠員補充）（定数 48 人、実員 48 人）
平成 9. 8.18（1997 年）	査察車(ニッサンサファリバン 4200cc)更新購入
平成 9. 9　（1997 年）	航空隊合同防災訓練（高田港）
平成 9.12.26（1997 年）	定数条例改正(定数 51 人、実員 48 人)
平成 10. 3.31（1998 年）	職員採用 3 人(定数 51 人、実員 51 人)
平成 10. 4. 1（1998 年）	消防本部・署の機構改革 消防本部 2 課（総務、警防）6 係（庶務、人事、警防、救急、予防、指導）、消防署 5 係（庶務、警防、救急、予防、指導）、救急救命士誕生（1 人）
平成 10. 4.24（1998 年）	２Ｂ型救急車更新（救急Ⅱ課程仕様）
平成 10.11. 5（1998 年）	救急救命士合格（1 人）
平成 11.10.29（1999 年）	水槽付消防ポンプ自動車（日野 A-1 級）積載水量 2.0t 寄贈

平成 12. 5. 9（2000 年）	救急救命士合格（1 人）
平成 12. 7. 8（2000 年）	広報車(ニッサンバン 1500cc)更新
平成 12.12. 9（2000 年）	救急救命士合格（1 人）
平成 12.12.28（2000 年）	定数条例改正（定数 52 人、実員 49 人）
平成 13. 4. 1（2001 年）	職員採用 3 人（欠員補充）（定数 52 人、職員数計 51 人）
平成 13. 9.11（2001 年）	潜水士免許取得　3 人
平成 14. 5　（2002 年）	救急救命士合格（1 人）
平成 14.11　（2002 年）	救急救命士合格（1 人）
平成 14.12.10（2002 年）	２Ｂ型救急車（トヨタⅡB）更新（救急Ⅱ課程仕様）
平成 15. 1.22（2003 年）	香々地無線基地開局
平成 15. 1　（2003 年）	豊後高田市消防団モデル特別点検（大分北部中核工業団地）【消防団】
平成 15. 3.31（2003 年）	高規格救急車（トヨタ）日本損害保険協会より寄贈、受納式及び 運用開始式
平成 15. 4. 1（2003 年）	職員採用 1 人(欠員補充)、(定数 52 人、実員 50 人）、市から 1 人出向
平成 15. 4. 1（2003 年）	香々地出張所完成・供用開始
平成 15.10.23（2003 年）	潜水士免許取得（3 人）
平成 16. 5　（2004 年）	救急救命士合格（1 人）
平成 16.10　（2004 年）	潜水士免許取得（1 人）
平成 16.11　（2004 年）	救急救命士合格（1 人）
平成 17. 3.30（2005 年）	高田地域消防組合解散
平成 17. 3.31（2005 年）	市町合併に伴い新市消防本部・消防署発足　条例定数 50 人 消防本部 3 課（総務課、予防課、警防課）､6 係（消防団係、庶務係、予防係、警防係、救急係、救助係） 消防署 3 小隊 4 分隊
平成 17. 3.31（2005 年）	市町合併に伴い豊後高田市消防団発足（条例定数 791 人、3 方面団 13 分団 61 部）、60 歳定年制導入
平成 17. 4. 1（2005 年）	職員採用 1 人（欠員補充）、市から 2 人出向
平成 17.11　（2005 年）	救急救命士合格（1 人）
平成 18. 4. 1（2006 年）	職員採用 2 人（欠員補充）
平成 19. 2.15（2007 年）	消防ポンプ自動車（日野 CD-1 型 A-2 級）4WD 更新
平成 19. 4. 1（2007 年）	職員採用 2 人（欠員補充）、(定数 50 人、実員 52 人）、市から 4 人出向、第 1 次行政改革のもと、消防団組織の再編整備を実施（条例定数 791 人から 700 人となる。11 分団 57 部）
平成 19. 8.31（2007 年）	消防団可搬ポンプ積載車２台更新（8-4、10-1）【消防団】
平成 20. 1　（2008 年）	消防職員が、香々地庁舎の窓口業務を兼務
平成 20. 3　（2008 年）	基本設計 3 月定例会予算議決
平成 20. 4. 1（2008 年）	職員採用 2 人（欠員補充）、（定数 50 人、実員 51 人）、市から 3 人出向

平成 20. 4　（2008 年）	豊後高田市消防庁舎建設検討委員会設置
平成 20. 5　（2008 年）	第 1 回建設検討委員会開催
平成 20. 6　（2008 年）	第 2 回建設検討委員会開催
平成 20. 8.28（2008 年）	消防団可搬ポンプ積載車 2 台更新（9-4、9-5）【消防団】
平成 20. 9. 8（2008 年）	第 3,4 回建設検討委員会開催
平成 20. 9. 8（2008 年）	基本設計業務委託契約締結
平成 20.12　（2008 年）	第 5,6 回建設検討委員会開催
平成 21. 2　（2009 年）	第 7 回建設検討委員会開催
平成 21. 2. 6（2009 年）	建設予定地地質調査業務委託契約締結
平成 21. 3.10（2009 年）	建設予定地地質調査業務完了
平成 21. 3.16（2009 年）	新庁舎基本設計完成
平成 21. 3　（2009 年）	第 8 回建設検討委員会開催
平成 21. 4. 1（2009 年）	職員採用 2 人（欠員補充）（定数 50 人、実員 49 人）
平成 21. 6　（2009 年）	実施設計 3 月定例会予算議決
平成 21. 7.28（2009 年）	実施設計業務委託契約締結
平成 21. 9. 1（2009 年）	監理委託契約締結
平成 21. 9. 4（2009 年）	訓練塔（副塔）実施設計業務委託契約締結
平成 21. 9.15（2009 年）	小型動力ポンプ付積載車 更新（10-4）【消防団】
平成 21.10. 6（2009 年）	小型動力ポンプ付積載車 購入(香々地出張所)
平成 21.11.10（2009 年）	訓練塔（副棟）実施設計完成
平成 21.12　（2009 年）	工事請負費 12 月定例会予算議決
平成 22. 1.15（2010 年）	新庁舎実施設計完成
平成 22. 1.25（2010 年）	訓練塔（副塔）新設工事請負契約締結
平成 22. 1.26（2010 年）	訓練塔（副塔）新設工事着工
平成 22. 2　（2010 年）	建築主体工事請負仮契約締結
平成 22. 3. 1（2010 年）	大分県防災航空隊に職員 1 名派遣　平成 25 年 3 月 31 日まで（3 年間）
平成 22. 3.18（2010 年）	議会議案議決　建築主体工事請負契約締結 電気設備工事請負契約締結 機械設備工事請負契約締結
平成 22. 3.24（2010 年）	訓練塔（副塔）新設工事請負変更契約締結
平成 22. 3.25（2010 年）	新訓練塔（副塔）完成
平成 22. 4. 1（2010 年）	職員採用 4 人（欠員補充）（定数 50 人、実員 49 人）
平成 22. 4　（2010 年）	施工監理業務委託契約締結、建設予定地の既存施設等撤去工事着工
平成 22. 6. 2（2010 年）	新消防庁舎起工式
平成 22.10.12（2010 年）	消防救急デジタル無線　電波伝搬調査業務開始
平成 23. 1.26（2010 年）	庁舎棟・車庫棟・附属施設完成、新庁舎への引越し及び業務開始
平成 23. 2　（2011 年）	既存庁舎等撤去及び外溝工事着工
平成 23. 2.24（2011 年）	消防救急デジタル無線　電波伝搬調査業務完了

平成 23. 3.10（2011 年）	Ｊアラート設置工事
平成 23. 3.22（2011 年）	庁舎建設全事業完了・新消防庁舎落成式
平成 23. 3.28（2011 年）	消防本部に多目的輸送車（トヨタ CBA－TRH229W）購入・運用開始（ワンボックス　ワゴンタイプ仕様）
平成 23. 3.30（2011 年）	救急車搭載用半自動体外式除細動器一式・救急救命講習蘇生人形一式購入・共用開始
平成 23. 4. 1（2011 年）	職員採用 4 人（欠員補充）、（定数 50 人、実員 50 人）、市へ 1 人職変
平成 23. 4.14（2011 年）	大分県消防長会春季総会を本市で開催
平成 23. 4.15（2011 年）	大分県消防長会主催第 34 回消防職員意見発表会を本市で開催
平成 23. 7.14（2011 年）	平成 23 年度前期県下消防団長会議を本市で開催（～15 日）
平成 23.10. 1（2011 年）	消防団員条例定数（700 人から 633 人に）改正
平成 24. 3.30（2012 年）	大分県常備消防相互応援協定締結
平成 24. 5.24（2012 年）	消防団へ水災害安全対策装備品（ライフジャケット）、貸与（330 着）
平成 24. 6.25（2012 年）	緊急消防援助隊支援資機材（エアーテント 一式）が無償貸与
平成 24. 7. 2（2012 年）	消防団へ救助用資機材貸与（全分団）【消防団】
平成 24. 8. 7（2012 年）	消防団へ小型動力ポンプ付積載車引渡（第 6 分団第 6 部）【消防団】
平成 24. 9.21（2012 年）	非接触型静脈可視化装置一式を購入
平成 25. 1.29（2013 年）	高規格救急車（日産）日本損害保険協会より寄贈、受納式及び運用開始式
平成 25. 3.31（2013 年）	県下 18 市町村大分県消防団相互応援協定締結【消防団】
平成 25. 4　（2013 年）	救急救命士合格（1 人）
平成 25.11.22（2013 年）	消防団小型動力ポンプ（B-3 級）　更新（2-4、4-5、11-3）【消防団】
平成 26. 1.31（2014 年）	消防救急デジタル無線整備実施設計完成
平成 26. 3.27（2014 年）	遠隔画像伝送システム導入
平成 26. 4　（2014 年）	救急救命士合格（1 人）
平成 26.12.17（2014 年）	消防団小型動力ポンプ（B-3 級）更新（1-4、2-2、3-1）【消防団】
平成 27. 3.31（2015 年）	消防救急デジタル無線通信指令設備整備工事完成
平成 27. 4. 1（2015 年）	職員採用 2 人（定数 50 人　実員 47 人）
平成 27.12. 1（2015 年）	消防団防災広報車（日産バネット）日本消防協会より寄贈
平成 27.12.22（2015 年）	総務省から市へ救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の貸与 消防団（1-1）に配備【消防団】
平成 27.12.22（2015 年）	消防団小型動力ポンプ（B-3 級）更新（3-3、5-6、10-3）【消防団】
平成 28. 4. 1（2016 年）	消防団本部付女性部（実員 10 名）発足【消防団】
平成 28.11.29（2016 年）	高規格救急車（トヨタ）購入≪高救 2≫
平成 29. 2. 3（2017 年）	消防団小型動力ポンプ（B-3 級）更新（4-3、5-2、10-5）【消防団】
平成 29. 4. 1（2017 年）	職員採用 1 人（欠員補充）

平成 30.2. 20（2018 年）	消防団小型動力ポンプ（B-3 級 4 ストローク） 更新（2-3、3-5、9-1） 【消防団】
平成 30. 3. 9（2018 年）	高規格救急車（トヨタ）購入 ≪高救 1≫
平成 31. 3.25（2019 年）	救助工作車Ⅱ型（日野）購入≪高消４≫救助資機材一式
令和 元. 9.20（2019 年）	消防団小型動力ポンプ（B-3 級 4 ｽﾄﾛｰｸ） 更新（5-3、6-3、11-1）
令和 元.12. 9（2019 年）	防災活動車（三菱デリカ D5）寄贈 公益社団法人 日本消防協会
令和 2.2（2020 年）	消防タンク車購入（日野）≪高消 3≫
令和 2.4.1(2020 年)	職員採用 2 人（欠員補充）
令和 3.3（2021 年）	救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車貸与（消防団 2-1）
令和 3.4.1(2021 年)	職員採用 2 人（欠員補充）
令和 4.3.6(2022 年)	救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車貸与（消防団 1-2） 小型動力ポンプ付き積載車 （消防団 3-1、10-6）
令和 5.3.19(2023 年)	救助用資機材小型動力ポンプ搬送車貸与（消防団 2-4） 小型動力ポンプ付き積載車 （消防団 10-3、10-5）
令和 5.11.29(2023 年)	高規格救急車（トヨタ）購入≪高救 3≫ 運用開始日 12.6 式典
令和 6.4.1(2024 年)	職員採用 1 名 おおいた消防指令センターへ消防吏員を 1 名派遣
令和 6.6.16(2024 年)	小型動力ポンプ付き積載車（消防団 4-5、10-2）
令和 6.8.23(2024 年)	第 52 回全国消防救助技術大会（ほふく救出）出場 出場選手（東恭平・川野亮治・酒井駿）
令和 6.10.1(2024 年)	おおいた消防指令センター運用開始（7.9 豊後高田市システム切替）
令和 7.3.25(2025 年)	小型動力ポンプ付き積載車（消防団 5-6、11-3）
令和 7.10.1(2025 年)	高救２積載用自動心臓マッサージ機更新
令和 7.10(2026 年)	小型動力ポンプ付き積載車（消防団 2-2、3-3）

１－６　歴代消防長・消防署長

（１）歴代消防長

歴代	氏　名	在　職　期　間	在職年数	備　考
初代	水之江俊彦	昭和45年11月 1日 ～ 昭和58年 3月31日	12年5月	
２代	橋本公則	昭和58年 4月 1日 ～ 昭和63年 3月31日	5年	
３代	倉田安雄	昭和63年 4月 1日 ～ 昭和63年12月31日	9月	管理者
４代	植木一雄	昭和64年 1月 1日 ～ 平成 9年 3月31日	8年4月	
５代	永野　修	平成 9年 4月 1日 ～ 平成13年 3月31日	4年	
６代	後藤俊信	平成13年 4月 1日 ～ 平成15年 3月31日	2年	
７代	安藤義文	平成15年 4月 1日 ～ 平成20年 3月31日	5年	
８代	福光博文	平成20年 4月 1日 ～ 平成22年 3月31日	2年	
９代	田中穂波	平成22年 4月 1日 ～ 平成23年 3月31日	1年	
10 代	門岡博通	平成23年 4月 1日 ～ 平成24年 3月31日	1年	
11 代	後藤　勲	平成24年 4月 1日 ～ 平成26年 3月31日	2年	
12 代	渡邊和幸	平成26年 4月 1日 ～ 平成28年 3月31日	2年	
13 代	榎本久光	平成28年 4月 1日 ～ 平成29年 3月31日	1年	
14 代	宗　高徳	平成29年 4月 1日 ～ 令和 2年 3月31日	3年	
15 代	隈井　智	令和 2年 4月 1日 ～ 令和 3年 3月31日	1年	
16 代	榎本賢二	令和 3年 4月 1日 ～ 令和 5年 3月31日	2年	
17 代	友久　優	令和 5年 4月 1日 ～ 令和 7年 3月31日	2年	
18 代	山田幸茂	令和 7年 4月 1日 ～		

（２）歴代署長

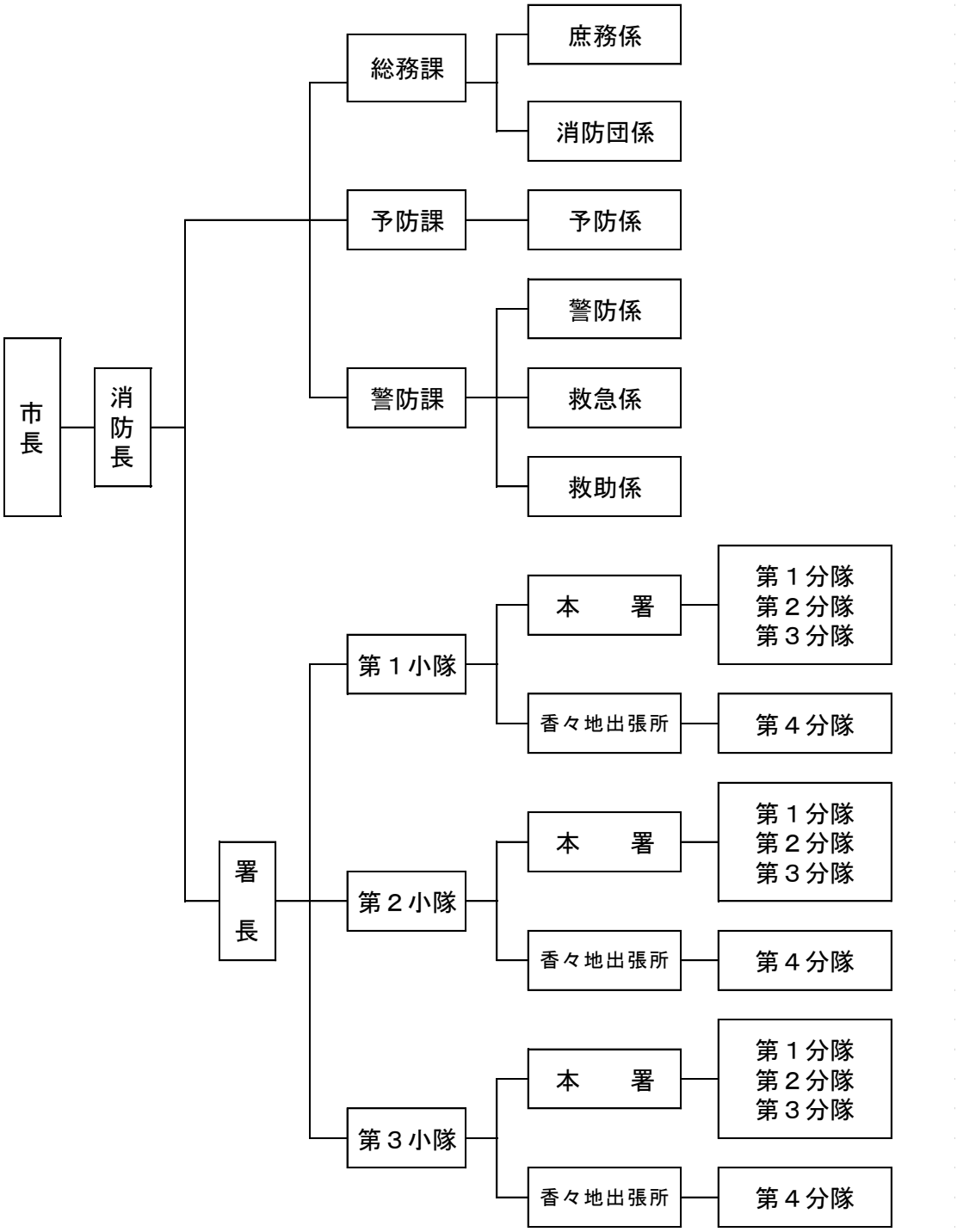
歴代	氏　名	在　職　期　間	在職年数	備　考
初代	水之江俊彦	昭和45年11月 1日 ～ 昭和58年 3月31日	12年 5月	消防長兼務
２代	植木一雄	昭和58年 4月 1日 ～ 昭和63年 3月31日	2年11月	
３代	橋本公則	昭和61年 3月 1日 ～ 昭和63年 3月31日	2年 1月	消防長兼務
４代	近藤寿治	昭和63年 4月 1日 ～ 平成 7年 3月31日	7年	
５代	植木一雄	平成 7年 4月 1日 ～ 平成 8年 3月31日	1年	消防長兼務
６代	後藤俊信	平成 8年 4月 1日 ～ 平成13年 3月31日	5年	
７代	安藤義文	平成13年 4月 1日 ～ 平成15年 3月31日	2年	
８代	後藤公則	平成15年 4月 1日 ～ 平成19年 3月31日	4年	
９代	田中穂波	平成19年 4月 1日 ～ 平成22年 3月31日	3年	
10 代	門岡博通	平成22年 4月 1日 ～ 平成23年 3月31日	1年	
11 代	板井雅彦	平成23年 4月 1日 ～ 平成26年 3月31日	3年	
12 代	宗　高徳	平成26年 4月 1日 ～ 平成29年 3月31日	3年	
13 代	隈井　智	平成29年 4月 1日 ～ 令和 2年 3月31日	3年	予防・警防課長兼務
14 代	高橋幸次	令和 2年 4月 1日 ～ 令和 3年 3月31日	1年	
15 代	友久　優	令和 3年 4月 1日 ～ 令和 5年 3月31日	2年	予防課長兼務
16 代	小川精一	令和 5年 4月 1日 ～ 令和 7年 3月31日	2年	予防課長兼務
17 代	山田真作	令和 7年 4月 1日 ～		予防課長兼務

総　務


AIR RESCUE
Save Life
Our friendship will lead us back together even if we are miles apart

２　総　務

２－１　消防本部・消防署機構図（令和８年４月１日現在）



２－２　事務分掌

○総務課

庶務係

（１）財産の使用管理に関すること。
（２）職員の人事に関すること。
（３）職員等の教養、服務及び規律に関すること。
（４）職員等の公務災害及び福利厚生に関すること。
（５）消防職員委員会に関すること。
（６）公印の保管及び文書、統計等に関すること。
（７）消防表彰に関すること。
（８）貸与品に関すること。
（９）消防広報に関すること。
(10) 他の係に属しない事務に関すること。

消防団係

（１）財産の使用管理に関すること。
（２）消防団員の人事に関すること。
（３）消防団員の教養、服務及び規律に関すること。
（４）消防団員の公務災害及び福利厚生に関すること。
（５）消防団員の表彰に関すること。
（６）貸与品に関すること。
（７）その他の消防団に関すること。

○予防課

予防係

（１）火災の原因及び損害の調査に関すること。
（２）火災調査資料の収集、分析、統計及び保存に関すること。
（３）予防査察の計画、実施及び違反処理の指導に関すること。
（４）防火思想の普及及び消防広報に関すること。
（５）防火管理者及び防火クラブの育成に関すること。
（６）建築許可等の同意及び通知に関すること。
（７）消防用設備等の指導及び消防設備士の育成、指導に関すること。
（８）火気使用設備等の指導に関すること。

（９）防火対象物の規制に関すること。
(10) 住宅防火診断に関すること。
(11) 備品の使用管理に関すること。
(12) その他の火災予防に関すること。
(13) 危険物製造所等の許可、認可、届出及び検査に関すること。
(14) 危険物製造所等の指導、取り締まりに関すること。
(15) 液化石油ガス及び火薬の許可等の意見書に関すること。
(16) 危険物安全協会に関すること。
(17) 危険物の規制に関すること。
(18) その他の危険物関係の調査、指導に関すること。

○警防課

警防係

（１）警防計画及び統計に関すること。
（２）火災及びその他の災害の警戒、防ぎょに関すること。
（３）消防相互応援に関すること。
（４）機械器具の整備、保全及び研究改善に関すること。
（５）機械器具の操作技術の研究及び指導に関すること。
（６）訓練、演習及び地理、水利に関すること。
（７）消防団及び事業所等の訓練、指導に関すること。
（８）豊後高田市火災予防条例（平成１７年豊後高田市条令第１４０号）による届出等に関すること。
（９）高圧ガス保安法（昭和２６年法律第２０４号）に基づく整備、管理に関すること。
(10) 消防車両、機械器具の使用、維持管理に関すること。
(11) 消防車両の運転及び整備技術の指導に関すること。
(12) 消防車両の燃料管理に関すること。
(13) 通信設備の整備及び管理に関すること。
(14) 消防通信業務に関すること。
(15) 災害現場の情報収集に関すること。
(16) 災害情報、気象状況及び広報に関すること。
(17) 災害に関する報告及び統計に関すること。
(18) 開発行為による水利の協議事項に関すること。
(19) 自主防災組織の推進に関すること。
(20) 消防職員の勤務編成に関すること。
(21) 消防職員の教養、訓練及び服務に関すること。
(22) 職員等の安全対策に関すること。

（23）備品の使用管理に関すること。
（24）その他警防に関すること。

救急係

（１）救急業務に関すること
（２）救急の統計、報告及び証明に関すること。
（３）救急資器材の整備に関すること。
（４）救急の教育訓練に関すること。
（５）機械器具の保全及び点検に関すること。
（６）人工呼吸法及び応急措置の指導に関すること。
（７）医師会、医療機関等との連絡調整に関すること。
（８）その他救急に関すること。

救助係

（１）潜水業務に関すること。
（２）統計及び報告に関すること。
（３）救助及び潜水資器材の整備に関すること。
（４）救助及び潜水の教育訓練に関すること。
（５）機械器具の保全及び点検に関すること。
（６）その他救助に関すること。

２－３ 豊後高田市災害対策本部組織図

豊後高田市災害対策本部規程　別表第１（第５条関係）

部	部長	副部長	係	係長	係員
消防部	消防長	消防本部総務課長 消防署長	消防係	消防署長(兼)	消防本部職員

２－４　豊後高田市災害対策本部事務分掌

豊後高田市災害対策本部規程　別表第２（第５条関係）

部	係	分掌事項
消防部	消防係	(1)気象情報、予報、警報等の収集伝達に関すること。 (2)市民に対する災害情報の広報に関すること。 (3)災害に対する警戒及び防御に関すること。 (4)消防団員の動員及び配備に関すること。 (5)避難勧告、指示による避難者の誘導及び救助に関すること。 (6)人命救助及び救急活動に関すること。 (7)行方不明者の捜索に関すること。 (8)災害通信の運用に関すること。 (9)各部の業務援助に関すること。

２－５　消防庁舎の現況

（１）庁舎関係

名　　称	構　　造	概　　要
豊後高田市 消防本部・ 消防署	総事業費　389,544,750 円 H23.3.15 完成 ・消防庁舎棟　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 2 階建 ・車庫棟　鉄骨平屋建 ・団車庫棟　鉄骨平屋建	【敷地面積】　約 6,300 ㎡ 【建築面積】　780.62 ㎡ 【延床面積】　1,275.14 ㎡ ・消防庁舎棟　839.75 ㎡ （１階）　462.59 ㎡ （２階）　377.16 ㎡ ・車庫棟　302.81 ㎡ ・団車庫棟　132.58 ㎡
豊後高田市 消防署 香々地出張所	総事業費 22,493,500 円 H15.4.1 完成 ・木造一部鉄骨造　平屋建	【敷地面積】　472.59 ㎡ 【延床面積】　186.66 ㎡

（施設の概要）

１　階　：　消防署事務室、通信指令室、出動待機室、消防装具室、救急装具室、倉庫、多目的トイレ

２　階　：　消防本部事務室、消防長室、会議室、非常用備蓄倉庫、書庫、男女トイレ

車庫棟　：　緊急車両６台駐車、資機材倉庫、水防倉庫

付属施設　：　消防団車庫倉庫、駐車場（61 台駐車可）、駐輪場

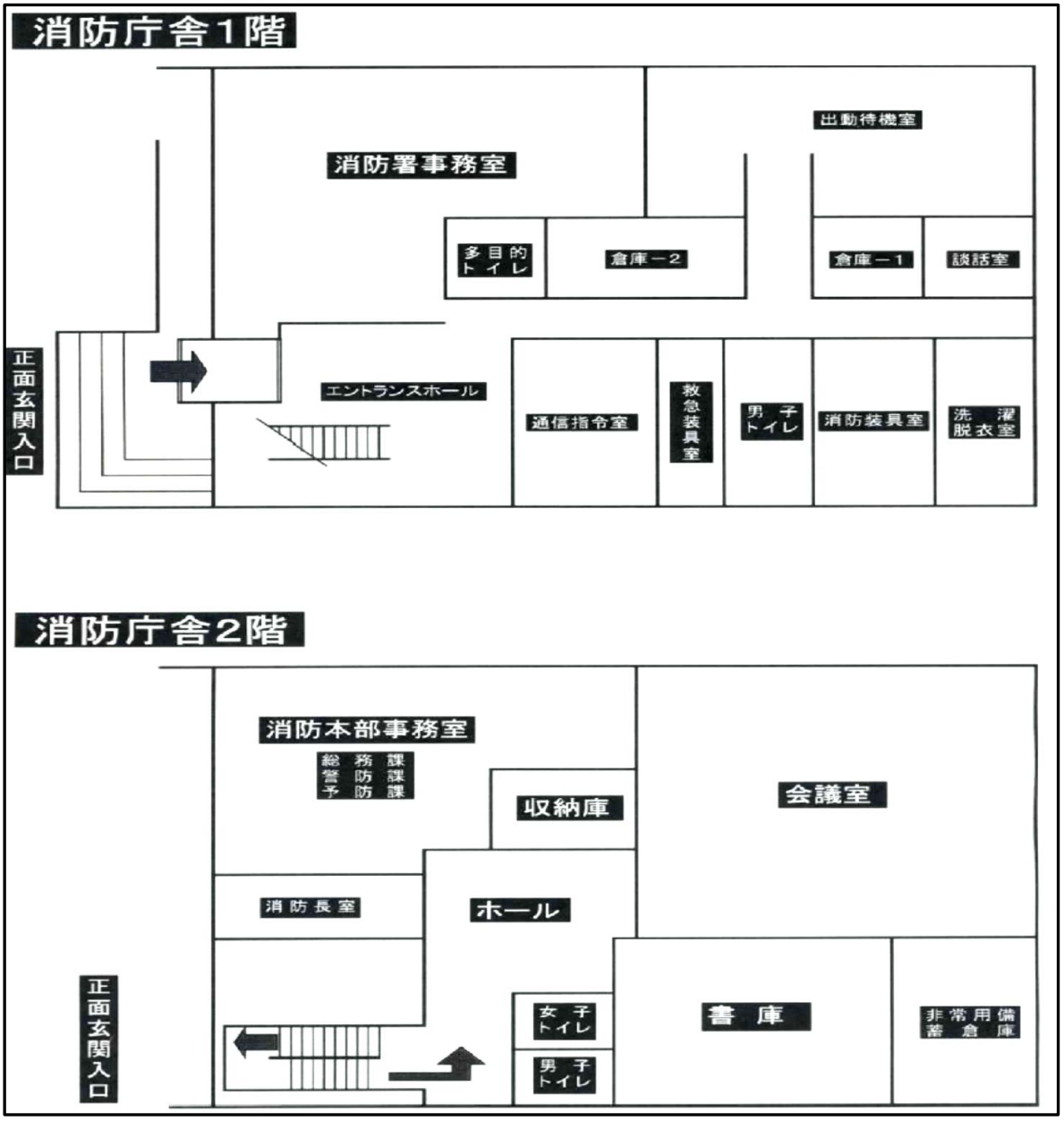
（特　　徴）

・大規模地震にも耐えられる強固な構造
・出動しやすく、機能的でコンパクトな構造
・非常災害に対応するため、備蓄倉庫及び水防倉庫を併設
・地球温暖化対策として、太陽光発電設備を設置
・訓練塔と一体的に整備した広い訓練スペース

（２）訓練塔関係

名　　称	構　　造	概　　要
訓練塔主塔	総事業費　38,662,921 円 H3.8.25 完成 ・鉄筋コンクリート造 5 階建 （地下・防火水槽 50.64 ㎥）	【延床面積】　212.48 ㎡ 【高さ】　17.75m
訓練塔副塔	総事業費　5,017,950 円 H22.3.25 完成 ・鉄骨造 2 階建	【延床面積】　50.00 ㎡ 【 高さ】　10.00m

（３）消防庁舎平面図


消防庁舎１階
消防署事務室
出動待機室
多目的トイレ
倉庫－２
倉庫－１
談話室
正面玄関入口
エントランスホール
通信指令室
救急装具室
男子トイレ
消防装具室
洗濯脱衣室
消防庁舎２階
消防本部事務室
総務課
警防課
予防課
収納庫
会議室
消防長室
ホール
正面玄関入口
女子トイレ
男子トイレ
書庫
非常用備蓄倉庫

（４）おおいた消防指令センターシステム関係

消防指令業務について、これまで豊後高田市単独で行っていましたが、令和６年１０月１日より県下統一で共同運用されることになりました。県内すべての災害情報が一元化されることによる大規模災害時の相互応援体制の早期擁立、迅速な応援出動と効果的な現場活動が可能になります。

（豊後高田市個別整備分の概要）
総事業費　229,466.6 千円
（緊急防災・減災事業債 229,400 千円 一般財源 66.6 千円）
令和 6 年 9 月 10 日完成

（特　　徴）

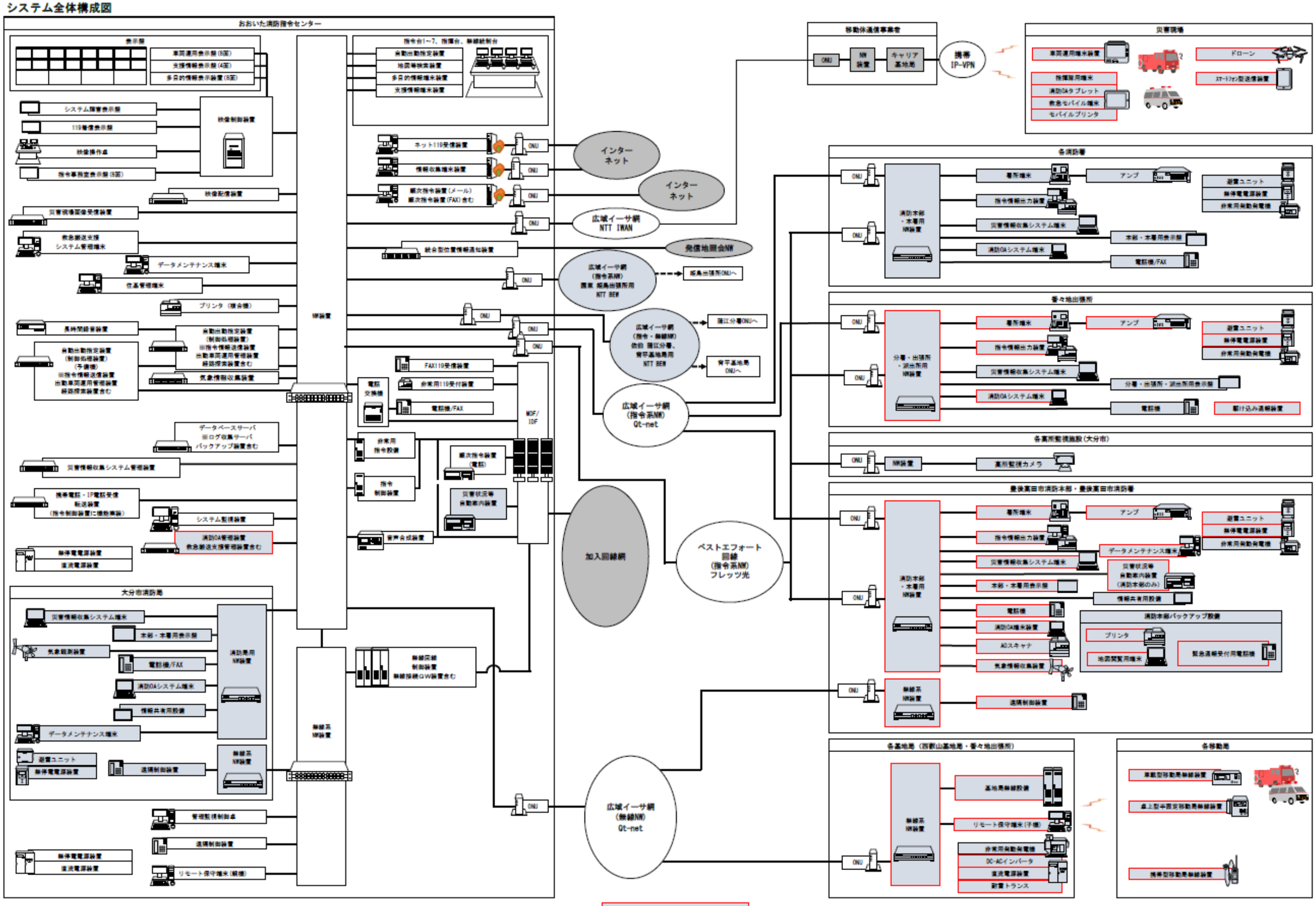
・映像通報システム導入により、１１９番通報者がスマートフォンで撮影した映像は、リアルタイムで指令センターに送信されます。災害現場の状況を把握したり、通報者に対し適切な口頭指導が行えるなど、より効果的な消防・救急活動が可能となります。

・ＮＥＴ１１９、ＦＡＸ１１９の導入により、聴覚障害や音声・言語機能障害等で音声通報が困難な方のために、スマートフォンやＦＡＸからの１１９番通報が可能になりました。

・最新の高機能指令システムの導入により、１１９番通報を受診してから災害現場に消防車両が到着するまでの時間が短縮されました。

・救急支援タブレットの導入により、傷病者情報や活動情報を記録し、医療機関への引き継ぎや報告書作成事務が省略され、いつ早く次の出動に備えることができ、救急業務が効率化されました。

（５）おおいた消防指令センターシステム全体構成図



２－６　消防予算

（１）消防予算と一般会計予算との比較

（単位：千円）

区　分	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
一般会計予算	14,954,705	16,985,755	17,017,911	18,826,023	17,328,027
消防予算	495,570	509,868	551,075	767,258	567,719
消防予算の割合	3.31%	3.00%	3.23%	4.08%	3.28%

（２）消防予算の細目

（単位：千円）

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
常備消防費	389,625	401,745	429,933	653,200	446,224
非常備消防費	71,286	78,045	83,666	82,800	81,246
消防施設費	15,791	16,099	17,042	18,676	17,718
水　防　費	3	3	3	3	3
災害対策費	18,865	13,976	20,431	12,579	22,528
合　　計	495,570	509,868	551,075	767,258	567,719

（３）消防予算に対する比較

年度／項目	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
人口１人当たり消防予算	22,080円	22,974円	24,910円	35,189円	26,189円
人口	22,444人	22,193人	22,122人	21,804人	21,678人
１世帯当たり消防予算	45,415円	42,276円	50,280円	69,757円	51,215円
世帯数	10,912世帯	10,785世帯	10,960世帯	10,999世帯	11,085世帯

※人口・世帯数は各年度３月３１日現在

２－７　職員配置表（令和７年４月１日現在）

（単位：人）

階級 / 所属		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	計
消防本部	消防長								11
	次長								
	総務課		3（4）	（2）		（1）	2（2）	1	6（9）
	警防課		1（9）	（6）	（1）	（5）	（3）		1（24）
	予防課		2（1）	1（3）		（1）	（1）		3（6）
	休職者								
	計	1	6（14）	1（11）	（1）	（7）	2（6）	1	11（30）
消防署	署長		（1）						（1）
	副署長		1						1
	第１小隊		4	4		3	1		12
	第２小隊		4	4		2	3		13
	第３小隊		5	3	1	2	3		14
	休職者								
	計		14（1）	11	1	7	6(2)		39（3）
合計		1	20（15）	12（11）	1（1）	7（7）	8（8）	1	50（42）

※（　）は、本部内の兼務、［　］は、署内兼務である。

※会計年度任用職員は、その他職員とする。

２－８　職員の条例定数及び階級別実員（令和７年４月１日現在）

（単位：人）

区分／年度	定数	実員	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	
令和３年度	50	49	1	12	12	0	11(1)	12	2	防災航空隊
令和４年度	50	49	1	13	12	0	11(1)	12	2	防災航空隊
令和５年度	50	48	1	16	9	5(1)	7	8	2	防災航空隊
令和６年度	50	49	1	20	8	4	5(1)	10	1	防災航空隊 おおいた消防指令センター
令和７年度	50	50	1	20	12	1	7(1)	8	0	おおいた消防指令センター

※１　会計年度任用職員は、その他の職員とする。ただし実員に定めない。出向中職員

※２　（　）書きは、おおいた消防指令センター又は、大分県防災航空隊に派遣されている者の内数とする。

２－９　職員勤続年数表（令和７年４月１日現在）

（単位：人）

階級別 / 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	計
３年未満						3		3
３年以上～５年未満								
５年以上～10年未満					3	5		8
10年以上～15年未満					2			2
15年以上～20年未満		1	9	1	3			14
20年以上～25年未満			3					3
25年以上～30年未満		4						4
30年以上	1	15						16
計	1	20	12	1	7	8	0	50

※会計年度任用職員は、その他職員とする。

２－10　職員年齢構成表（令和７年４月１日現在）

（単位：人）

階級別 / 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	計
20 歳未満								
20 歳以上 ～25 歳未満						3		3
25 歳以上 ～30 歳未満						5		5
30 歳以上 ～35 歳未満					7			7
35 歳以上 ～40 歳未満			6	1	1			8
40 歳以上 ～45 歳未満			3					3
45 歳以上 ～50 歳未満		4	3					7
50 歳以上	1	16						17
計	1	20	11	1	9	8	0	50

※会計年度任用職員は、その他職員とする。

２－11　各種資格取得状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

資格＼階級			消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	計
自動車運転免許	大型	1種	1	15	5		3		1	25
		特殊		4	3				1	8
	中型				6	1	4	6	1	18
	普通	8t限定	1	19	8					28
		5t限定			4	1	7	3	1	16
		3.5t未満						3		
	二輪	大型		4	2			1	1	8
		普通400		10	3		1	1	1	16
		普通125								
危険物取扱者	乙種	第1類		1	2					3
		第2類		1	2					3
		第3類		1	2					3
		第4類		3	4					7
		第5類		1	2					3
		第6類		1	2					3
消防設備士	乙種	第6類		1	5					6
救急救助資格	救急Ⅰ課程			5						5
	救急Ⅱ課程			5						5
	救急標準課程			13	10	1	3			27

資格＼階級			消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	計
救急救助資格	救助資格			16	8	1	4			29
	救急救命士			8	2		4	8	1	23
		気管挿管		6	2		3			11
		薬剤投与		8	2		4	6	1	21
		静脈路確保		8	2		4	6	1	21
予防技術資格	防火査察			2	5		1			8
	消防設備			2	5					7
	危険物			2	5					7
無線関係	陸上特殊無線技師	第2級		17	2					19
		第3級		1	10	1	7	6	1	26
	アマチュア無線技師	1級								
		2級								
		3級								
		4級		2	2					4
特殊技能	クレーン									
	小型移動クレーン運転技能			12	11	1	7	4	1	36
	玉掛技能免許			12	11	1	7	4	1	36
	巻上機運転免許			12	11	1	7	4	1	36
	フォークリフト運転技術士			1						1
小型船舶操縦士		1級		1	1		1			3
		2級		5	1	1	3			10
潜水士免許				18	11	1	7	6	1	44
自動車整備士										
第1種衛生管理者				1						1
ガス溶接技能士				2	1					3
酸素欠乏危険作業主任者				12	7	1				20
防災士				9	2					11
着衣泳指導員				2		1				3

２－12　消防職員表彰受賞状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

区別＼年度		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
消防庁長官	功労章					
	永年勤続功労章				1	1
大分県知事	功労章			1	1	
	永年勤続功労章	1	1			1
日本消防協会長	功績章		1			
	精績章					4
	勤続章				2	6
	永年勤続功労章					3
全国消防長会長	20 年勤続					
	30 年勤続				6	
全国消防協会	優良消防職員表彰					
大分県消防協会長	20 年勤続	3				1
	25 年勤続	3	1			
	30 年勤続				2	6
	35 年勤続				2	
合　計		7	3	1	14	22

２－13　職員の消防学校・消防大学校等入校状況

（単位：人）

区分 ＼ 年度			令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
消防大学校		新任消防長科					
		警防科					
救急救命九州研修所		薬剤投与追加講習					
		救急救命士養成					
		指導救命士養成		1			
大分県消防学校	初任教育		2			1	
	専科教育	警防科	2		1		2
		特殊災害科	2		2		2
		予防査察科		1		1	
		火災調査科	1		1		
		救急科					
		救助科		2		2	2
	幹部教育	初級幹部科					
		中級幹部科					
		上級幹部科					
	特別教育	特殊技能講習	3	3	3	3	
		訓練礼式指導者研修					
		水災防ぎょ研修					
		気管挿管講習					
		救急救命士再教育研修			2	4	1
		実火災体験研修			2	2	2
		消防操法指導者研修				3	
	救急救命士の処置範囲拡大に係る追加講習						

予　防



３　予　防

３－１　防火対象物の現況

（延べ面積 150 ㎡以上　令和 8 年 3 月 31 日現在）

項別		用　　途	施設数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場館	1
	ロ	公会堂又は集会場	20
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場又はダンスホール	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックス等	
3	イ	待合、料理店等	
	ロ	飲食店	22
4		百貨店、店舗又は展示場等	34
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	8
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	82
6	イ	病院、診療所又は助産所	13
	ロ	養護老人ホーム、有料老人ホーム等	10
	ハ	老人デイサービス、保育所等	33
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2
7		小、中、高等学校等	40
8		図書館、博物館、美術館等	6
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	1
11		神社、寺院、教会等	60
12	イ	工場又は作業場	103
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14		倉庫	84
15		前各号に該当しない事業場	111
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物	63
	ロ	16 項イ以外の複合用途防火対象物	12
16 の２		地下街	
16 の３		建築物の地階等	
17		重要文化財等	
18		延長 50 メートル以上のアーケード	
19		市町村長の指定する山林	
20		総務省令で定める舟車	
計			709

３－２　消防用設備等設置件数

（単位：件）

区分＼年度		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
消火設備	消火器	17	24	9	9	4
	屋内消火栓設備	2	2	1	1	1
	スプリンクラー設備	2		1		
	泡消火設備					
	粉末消火設備			1		
	屋外消火栓設備	1	2	1		1
	動力消防ポンプ設備					1
	パッケージ型消火設備		1			1
	パッケージ型自動消火設備					2
警報設備	自動火災報知設備	21	22	19	14	29
	非常警報設備		3		2	2
	ガス漏れ火災警報設備					
	火災通報装置	1	1	1	2	1
	漏電火災警報器					
避難設備	避難器具	1			1	
	誘導灯	9	7	10	4	4
消防用設備等	連結送水管					
	排煙設備					

３－３　予防関係届出処理状況

（単位：件）

区分 ＼ 年度		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
消防法関係	防火管理者選（解）任届	28	33	31	29	43
	消防計画作成（変更）届	33	37	38	32	48
	消防用設備等着工届	24	30	9	11	21
	消防用設備等設置届	58	64	44	31	48
	消防用設備等 点検結果報告書	277	300	216	229	354
	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	13	4	5	3	4
火災予防条例関係	防火対象物使用開始届	31	34	21	18	23
	炉、かまど、ボイラー等設置届	3	9	7	4	9
	変電、燃料電池発電、発電蓄電池設備設置届	21	13	12	7	11
	ネオン管灯設備設置届					
	水素ガスを充てんする気球の設置届					
	少量危険物貯蔵取扱届出書	11	14	8	3	14
	催物開催届出書					
計		499	538	391	367	575

３－４　防火管理の状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

（単位：件）

項別		用　　途	法　第　８　条　対象物	選任済　対象物	消防計　画届出
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場館			
	ロ	公会堂又は集会場	17	16	16
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場又はダンスホール	1	1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等			
3	イ	待合、料理店等			
	ロ	飲食店	11	6	6
4		百貨店、店舗又は展示場等	29	25	25
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	3	3	3
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	8	5	5
6	イ	病院、診療所又は助産所	3	3	3
	ロ	養護老人ホーム、有料老人ホーム等	10	10	10
	ハ	老人デイサービス、保育所等	15	15	15
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1	1	1
7		小、中、高等学校等	10	10	10
8		図書館、博物館、美術館等	4	3	3
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等			
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2	2	2
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場			
11		神社、寺院、教会等	3	3	2
12	イ	工場又は作業場	10	10	10
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫又は駐車場			
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14		倉庫			
15		前各号に該当しない事業場	13	13	11
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物	34	28	28
	ロ	16 項イ以外の複合用途防火対象物	4	4	4
16 の２		地下街			
16 の３		建築物の地階等			
17		重要文化財等			
18		延長 50 メートル以上のアーケード			
19		市町村長の指定する山林			
20		総務省令で定める舟車			
計			178	158	155

３－５　建築確認用途別申請内訳　防火対象物数（300㎡以上）

（単位：件）

年度／用途	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
映画館・観覧場等					
公会堂・集会場					
遊技場等					
飲食店					
物品販売店舗					
旅館・ホテル		1	1		
共同住宅			1		
病院・診療所	1	1	1		1
老人福祉施設等	2		1	1	
学校					
展示場					
公衆浴場					
神社・寺院・教会					
工場・作業場		4	2	1	1
車庫・駐車場					
倉庫	2	2	1	3	1
事務所等	7	1		1	2
複合用途防火対象物		1		1	
専用住宅	2	5	4		1
併用住宅					
その他の工作物					
計	14	15	11	7	6

３－６　防火対象物の立入検査実施状況（令和７年度中）

（単位：件）

項別		用　　途	件　数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場館	
	ロ	公会堂又は集会場	1
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場又はダンスホール	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックス等	
3	イ	待合、料理店等	
	ロ	飲食店	2
4		百貨店、店舗又は展示場等	6
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	30
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	
6	イ	病院、診療所又は助産所	1
	ロ	養護老人ホーム、有料老人ホーム等	6
	ハ	老人デイサービス、保育所等	2
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	
7		小、中、高等学校等	5
8		図書館、博物館、美術館等	2
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	
11		神社、寺院、教会等	
12	イ	工場又は作業場	16
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14		倉庫	10
15		前各号に該当しない事業場	26
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物	6
	ロ	16 項イ以外の複合用途防火対象物	
16 の２		地下街	
16 の３		建築物の地階等	
17		重要文化財等	
18		延長 50 メートル以上のアーケード	
19		市町村長の指定する山林	
20		総務省令で定める舟車	
計			114

３－７　危険物施設数と倍数（令和８年３月31日現在）

（単位：件）

施設区分 ＼ 倍数・類別			製造所	貯蔵所								取扱所						合計
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計	
倍数別	5倍以下			4	5	1	10	10		1	31					6	6	37
	5倍超 10倍以下			3	7		2				12	3				4	7	19
	10倍超 50倍以下			1	2		3	2			8	8				5	13	21
	50倍超 100倍以下						1				1	9				2	11	12
	100倍超 150倍以下											3					3	3
	150倍超 200倍以下											3					3	3
	200倍超 1,000倍以下											2					2	2
	1,000倍超 5,000倍以下																	
	5,000倍超																	
	小計			8	14	1	16	12		1	52	28				17	45	97
類別	単	第1類																
	単	第2類																
	単	第3類																
	独	第4類		8	14	1	16	12		1	52	28				16	44	96
	独	第5類																
	独	第6類																
	混在															1	1	1
合計				8	14	1	16	12		1	52	28				17	45	97

３－８　危険物施設数の推移

（単位：件）

施設区分＼年度		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
製造所						
貯蔵所	屋内貯蔵所	7	7	8	8	8
	屋外タンク貯蔵所	16	15	15	15	14
	屋内タンク貯蔵所	1	1	1	1	1
	地下タンク貯蔵所	17	16	16	16	16
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所	11	11	12	12	12
	屋外貯蔵所	1	1	1	1	1
	小計	53	51	53	53	52
取扱所	給油取扱所	29	29	29	28	28
	第一種販売取扱所					
	第二種販売取扱所					
	移送取扱所					
	一般取扱所	18	17	17	17	17
	小計	47	46	46	45	45
合計		100	97	99	98	97

３－９　危険物規制許認可事務処理状況、危険物製造所等の手数料収入状況

（１）危険物規制許認可事務処理状況（令和７年度中）

（単位：件）

施設区分＼申請区分		設置許可	変更許可	完成検査前検査	完成検査		仮使用承認
					設置	変更	
貯蔵所	屋内貯蔵所						
	屋外タンク貯蔵所		1			1	
	屋内タンク貯蔵所						
	地下タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所						
	屋外貯蔵所						
	小　　計		1			1	
取扱所	給油取扱所		3			2	3
	第一種販売取扱所						
	一般取扱所		15			13	17
	小　　計		18			15	20
合　　計			19			16	20

（２）危険物製造所等の手数料収入状況（令和７年度中）

（単位：千円）

施設区分＼申請区分		設置許可	変更許可	完成検査前検査	完成検査		仮使用承認	仮貯蔵仮取扱	計
					設置	変更			
貯蔵所	屋内貯蔵所								
	屋外タンク貯蔵所		10			5			15
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所								
	屋外貯蔵所								
	小　　計		10			5			15
取扱所	給油取扱所		78			26	16.2		120.2
	第一種販売取扱所								
	一般取扱所		367			156.75	75.6		599.35
	小　　計		445			182.75	91.8		719.55
合　　計			455			187.75	91.8		734.55

３－10　危険物関係申請・届出受理状況（令和７年度中）

（単位：件）

区分＼年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
設置許可申請			2	1	
変更許可申請	17	21	10	14	18
完成検査申請	20	21	11	13	16
仮使用承認申請	17	18	10	14	17
仮貯蔵仮取扱申請					
譲渡引渡届					
種類数量変更届	2	4	2	5	3
保安監督者選任解任届	6	5	6	3	2
廃止届	3	3		2	1
計	65	72	41	52	57

３－11　危険物施設の立入検査実施状況　（令和７年度中）

（単位：件）

施設区分		件数
貯蔵所	屋内貯蔵所	5
	屋外タンク貯蔵所	9
	屋内タンク貯蔵所	
	地下タンク貯蔵所	7
	移動タンク貯蔵所	4
	屋外貯蔵所	1
	小計	26
取扱所	給油取扱所	15
	第一種販売取扱所	
	一般取扱所	8
	小計	23
合計		49

警　防



４　警　防

４－１　消防車両の配置状況

（令和 8 年 3 月 31 日現在）

種類	呼称名	メーカー 車　名	種　別	経過年数（年）	本　部			消防署	
					総務課	警防課	予防課	本署	香々地出張所
消防車	たかしょう１	日野 レンジャー	水槽付消防車	26				○	
	たかしょう２	日野 デュトロ	災害対応特殊 ポンプ自動車	19				○	
	たかしょう３	日野 レンジャー	水槽付消防車	5				○	
	たかしょう４	日野 レンジャー	救助工作車	7				○	
	たかしょう５	トヨタ トヨエース	積載車	16					○
救急車	たかきゅう１	トヨタ ハイエース	高規格	8				○	
	たかきゅう２	トヨタ ハイエース	高規格	9				○	
	たかきゅう３	トヨタ ハイエース	高規格	5					○
その他	たかしょう６	ニッサン サファリ	査察車	28			○		
	たかしょう７	ニッサン バネット	広報車	10	○				
	たかしょう８	マツダ ボンゴ	消防団 活動車	17	○				
	たかしょう９	トヨタ ハイエース	多目的輸送車	15		○			
	ストッピー君	スズキ ジムニー	広報用 ミニ消防車	47			○		
	―	三菱 デリカ	防災活動車	6	○				

４－２　通信設備一覧

（令和 8 年 3 月 31 日現在）

種　　別	本部・署（香々地出張所含む）
火災、 救急専用電話（１１９番）	おおいた消防指令センター
災害弱者緊急通報システム	1 回線
一般加入電話	本　部・署　　22 局 3108（４回線） 香々地出張所　54 局 3995、23 局 2822
ファクシミリ	本　部・署　　22 局 3542 香々地出張所　23 局 2823
聾唖者専用ファクシミリ　一式	24 局 4119
衛星携帯電話	870 局 776100289
市民案内用電話	0800-200-5388

４－３　消防無線局一覧

（令和 8 年 3 月 31 日現在）

識　別　番　号	所在地	無線局				
			活動波１	活動波２	主運用波	統制波
たかしょうほんぶ	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょうさいえい	小田原西叡山	基地局	○	○	○	○
たかしょうかかぢ	香々地出張所	基地局	○	○		
たじゅうさいえい	小田原西叡山	固定局	○	○	○	○
たかきゅう１	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかきゅう２	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかきゅう３	香々地出張所	移動局	○	○	○	○
たかしょう１	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう２	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう３	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう４	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう５	香々地出張所	移動局	○	○	○	○
たかしょう６	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう７	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう８	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう９	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう５１	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう５２	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう５３	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう５４	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう５５	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう５６	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう５７	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう５８	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう５９	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう６０	香々地出張所	移動局	○	○	○	○
たかしょう６１	本　　部	移動局	○	○	○	○

たかしょう６２	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう６３	本　　部	移動局	○	○	○	○
たかしょう６４	香々地出張所	移動局	○	○	○	○

識　別　番　号	所在地	無線局	４００ＭＨｚ帯アナログ		
			活動波１・２	九共波１・２・３	防災相互波
しょかつたかだ１	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ２	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ３	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ４	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ５	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ６	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ７	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ８	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ９	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ１０	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ１１	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ１２	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ１３	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ１４	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ１５	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ１６	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ１７	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ１８	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ１９	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ２０	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ２１	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ２２	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ２３	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ２４	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ２５	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ２６	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ２７	本　　部	移動局	○	○	○

識　別　番　号	所在地	無線局	４００ＭＨｚ帯アナログ		
			活動波１・２	九共波１・２・３	防災相互波
しょかつたかだ２８	本　　部	移動局	○	○	○
しょかつたかだ２９	香々地出張所	移動局	○	○	○
しょかつたかだ３０	香々地出張所	移動局	○	○	○
しょかつたかだ３１	香々地出張所	移動局	○	○	○

４－４　消防・救急資機材の現況

（令和 8 年 3 月 31 日現在）

放水器具	クールファイターノズル	1	救急器具	バッグバルブマスク	3
	クアドラノズル	4		患者監視装置	3
	ウルティマティックノズル	1		モバイル 12 誘導心電図伝送システム	3
	消防ホース　40㎜	14		人工呼吸器（メデュマットイージー）	3
	消防ホース　50㎜	73		〃　　（アンサー）	0
	消防ホース　65㎜	98		自動心臓マッサージ器（LUCUS）	3
	ジェットシューター	12		レサシアン	17
	ウォーターチャージャー	2		静脈路確保訓練用資機材	2
	泡プロパック	1		気道管理トレーナー 一式	2
	泡消火薬剤	60L		血糖測定器	3
隊員保護具	空気呼吸器	12		マジックギプスセット	3
	安全帯	9		パルスオキシメーター	3
	耐熱服	2		ショックパンツ	3
	蜂防護服	2		消毒機（シャットノクサス）	1
救急器具	布担架	3		高度救命処置訓練人形	3
	スクープストレッチャー	3		携帯電話（救急用）	3
	のう盆	3		骨伝導イヤホン	3
	血圧計	6		半自動体外式除細動器（AED-3151）	1
	聴診器	3		〃（TEC-2603）	2
	副子	14		携帯酸素	3
	レスキューシート	3		蒸気滅菌器	2
	吸引器（LSU 4000）	3		ＡＥＤ（FR2・FR3 各 1）	2
	バックボード	3		ＡＥＤトレーナー	9
	遠隔画像伝送システム	3		静脈可視化装置（スタッドベイン）	2

４－５　消防水利の現況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

（１）消火栓

（単位：基）

公　設	私　設	合　計
306	2	308

（２）防火水槽

（単位：基）

100 ㎥以上	60 ㎥以上 100 ㎥未満	40 ㎥以上 60 ㎥未満	20 ㎥以上 40 ㎥未満	私　設	合　計
0	2	338	12	7	359

防火水槽別 ＼ 地区別		高　田 地　区	真　玉 地　区	香々地 地　区	合　計
防火水槽	100 ㎥ 以上				
	60 ㎥ 以上 100 ㎥ 未満	0	2		2
	40 ㎥ 以上 60 ㎥ 未満	153	93	99	345
	40 ㎥ 未満	0	9	3	12
	計	153	104	102	359
プ ー ル		6	2	3	11
合　　計		159	106	105	370

４－６　警防関係各種届出事務処理状況（令和７年度）

（単位：件）

区分＼月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
消防訓練実施計画届出書	11	12	8	7	7	8	23	12	14	9	8	18	137
露店等の開設届出書		1	1	2	2	1	4		3			2	16
道路工事（通行止）届出書		1				1							2
火災と紛らわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出書（口頭含む）	26	23	27	19	20	23	22	47	28	27	35	36	333
煙火の打上又は仕掛届出書				1	1		2		3				7

４－７　相互応援協定等締結状況

【相互応援協定】　令和８年３月31日現在

協定名称	締結市町村名等	締結の状況	締結年月日
大分県常備消防相互応援協定	大分県下１４消防本部	火災・救急・救助・その他の災害	平成24年3月30日
大分県防災ヘリコプター応援協定	大分県･大分県下１４消防本部	火災・救急・救助・その他の災害	平成9年6月1日

火災統計



５　火災統計

５－１　火災の概要、損害額の推移

（１）火災の概要

（単位：件）

年別／種別	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
建　物	2	6	7	4	7
林　野					
車　両		1	1		
その他	3	3	6		4
計	5	10	14	4	11

（２）損害額の推移

（単位：千円）

年　別／種　別	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
建　物	13，232	28，860	4，268	1,153	13,211
林　野					
車　両		482	400		
その他	4300	39			12
計	13，662	29，381	4，668	1,153	13,223

５－２　火災による死者の状況、火災による負傷者の状況

（１）火災による死者の状況

（単位：人）

年別 / 種別	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
建　物					1
林　野					
車　両					
その他					
計	0	0	0	0	1

（２）火災による負傷者の状況

（単位：人）

年別 / 種別	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
建　物	1	1	2		
林　野					
車　両					
その他					
計	1	1	2	0	0

５－３　出火原因別火災発生状況（令和７年中）

（単位：件）

要因別＼月別		１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合計
原因別	たばこ													
	こんろ		1											1
	風呂・かまど													
	電気配線	1			1						1			3
	たき火	1			1			2						4
	放火(放火の疑い)													
	火遊び													
	ストーブ等													
	灯明・ロウソク等													
	乾燥機等											1		1
	花火													
	車両等関係													
	落雷													
	その他													
	不明・調査中					2								2
	計	2	1		2	2		2			1	1		11
火災種別	建　物	1	1		2	1		1				1		7
	林　野													
	車　両													
	船　舶													
	その他	1				1		1			1			4
	計	2	1		2	2		2			1	1		11

５－４　用途別・月別火災発生状況　（令和７年中）

（単位：件数）

用途別		月別												計	損害額（千円）
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
建物	専用住宅	1			1	1								3	12,479
	併用住宅														
	共同住宅		1											1	289
	飲食店														
	店舗														
	旅館・ホテル														
	病院														
	福祉施設														
	学校														
	工場・作業場				1							1		2	175
	倉庫・納屋							1						1	268
	事務所														
	特定複合用途														
	非特定複合用途														
	その他														
林野															
車両															
船舶															
その他		1				1		1			1			4	12
計		2	1		2	2		2			1	1		11	13,223

５－５　種別・時間別火災発生状況（令和７年中）

（単位：件数）

種別／時間	建　物	林　野	車　両	船　舶	その他	計
０　～　２						
２　～　４						
４　～　６						
６　～　８						
８　～　10	1					1
10　～　12					2	2
12　～　14	2					2
14　～　16	2				1	3
16　～　18					1	1
18　～　20	2					2
20　～　22						
22　～　24						
不　　明						
計	7				4	11

５－６　曜日別火災発生状況　（令和７年中）

（単位：件）

種別／曜日	建　物	林　野	車　両	船　舶	その他	計
日	1				1	2
月					1	1
火	1				2	3
水						
木	2					2
金	2					2
土	1					1
不明						
計	7				4	11

救急統計



６　救急統計

６－１　救急出動の推移、事故種別発生状況

（１）救急出動の推移

（単位：件）

年　　別	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
出動件数	1,175	1,447	1,517	1,532	1,508

（２）事故種別発生状況

（単位：件）

年	区分	計	事故種別													不搬送
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	その他				転院搬送			
										加害	自損行為	急病	その他	市内	市外	県外	
令和３年	出動件数	1,447	2	0	0	65	10	9	191	898				25	176	2	69
	搬送人員	1,310	1	0	0	62	10	9	184	841				25	176	2	
令和４年	出動件数	1,762	1	0	0	67	14	2	266	1,097				32	180	1	102
	搬送人員	1,563	0	0	0	64	14	2	255	1,015				32	180	1	
令和５年	出動件数	1,884	2	0	3	54	11	5	262	1,180				34	226	1	106
	搬送人員	1,672	0	0	1	51	9	5	248	1,097				34	226	1	
令和６年	出動件数	1,840	0	0	2	76	19	4	260	1,166				28	191	2	92
	搬送人員	1,667	0	0	1	77	18	5	262	1,083				28	191	2	
令和７年	出動件数	1,877	1	0	2	65	16	2	255	1,167				32	213	2	122
	搬送人員	1,673	0	0	2	59	13	2	285	1,029				32	213	2	

６－２　曜日別、月別出動件数（令和７年中）

（単位：件）

区分＼事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院搬送	医師搬送	資器材等	その他	
曜日別	月				11			44	1		128	41			1	226
	火				13	3		44		2	151	34			1	248
	水				3	4		34	3	1	110	55			1	211
	木				8	3	1	31	1		136	33				213
	金	1			12	2		25			132	47				219
	土			2	9	2	1	35		1	126	24				200
	日				9	2		42	2		123	13				191
計		1		2	65	16	2	255	7	4	906	247			3	1508
月別	1				6	1		24			94	15				140
	2				4	2		13			79	13				111
	3				7	1		12			86	27				133
	4				3			25			67	23				118
	5	1			8			18	1		64	22				114
	6				7	2		26	3		62	18				118
	7				3	2	1	30			75	24				135
	8			1	7	2		26	2	1	86	21			3	149
	9				7	2		21		1	70	16				117
	10				2	1		20	1		72	22				118
	11				6	2	1	18		2	72	27				128
	12			1	5	1		22			79	19				127

６－３　搬送人員（令和７年中）

（単位：件）

事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
搬送人員			2	59	13	2	285	3	3	778	245	1,390

６－４　時間別出動件数（令和７年中）

（単位：件）

時間別	出動件数	事故種別													
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他
計	1,508	1		2	65	16	2	255	7	4	906	247			3
0~2	64				1	1		8			51	3			
2~4	47				1			4			40	2			
4~6	49				1	1		5	1		40				1
6~8	124				7			24	1	3	82	7			
8~10	219				9	3		40	1		130	36			
10~12	216			1	5	4	1	31	1	1	106	65			1
12~14	185			1	7	2	1	21			99	54			
14~16	140	1			11	2		27			69	30			
16~18	166				12			35			94	24			1
18~20	128				7	2		27			81	11			
20~22	92				1	1		19	1		61	9			
22~24	78				3			14	2		53	6			

６－５　傷病程度別搬送状況

（単位：件）

程度＼年別	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
死　　亡	27	30	35	23	23
重　　症	154	173	187	183	133
中 等 症	597	748	745	852	829
軽　　症	328	398	444	387	399
そ の 他		1		1	6
計	1,107	1,350	1,411	1,446	1,390

※死　亡　初診時において、死亡が確認されたもの
※重　症　傷病の程度が３週間以上の入院を必要とするもの
※中等症　傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
※軽　症　傷病の程度が入院加療を必要としないもの
※その他　医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの

６－６　医療機関搬送件数（令和７年中）

（単位：件）

医療機関＼事故種別			計	うち管外	急病	うち管外	交通事故	うち管外	一般負傷	うち管外	その他	うち管外
救急告示医療機関	国　　立		64	64	20	20	3	3	6	6	35	35
	公　　立		175	175	98	98	9	9	15	15	53	53
	公　　的		43	43	16	16	3	3	5	5	19	19
	私的	病院	767	195	468	91	33	14	194	47	72	43
	私的	診療所	3	3							3	3
	計		1,052	480	602	225	48	29	220	73	182	153
その他の医療機関	国　　立		7	7	1	1					6	6
	公　　立											
	公　　的											
	私的	病院	317	238	165	139	11	4	62	22	79	73
	私的	診療所	14	10	10	6			3	3	1	1
	計		338	255	176	146	11	4	65	25	86	80
その他の場所												
合　　計			1,390	735	778	371	59	33	285	98	268	233

６－７　救急隊員の行った応急処置件数（令和７年中）

（単位：件）

事故種別 / 応急処置	急　　病	交通事故	一般負傷	そ の 他	計
止血	3	2	8	3	16
固定		10	14	5	29
人工呼吸	6			2	8
胸骨圧迫	14	2	1	2	19
心肺蘇生	13	2	1	2	18
酸素吸入	80	6	6	31	123
気道確保	21	3	1	4	29
保温	121	5	48	42	216
被覆	6	3	9	3	21
在宅酸素継続					
除細動	1				1
静脈路確保	18	2	1	2	23
薬剤投与	10	2	1	2	15
その他の応急処置	3			1	4
血圧測定	748	55	280	265	1,348
血中酸素飽和度の測定	660	47	242	232	1,181
心電図	460	25	117	148	750
計	2,164	164	729	744	3,801

６－８　救急隊員の資格（令和 8 年 3 月 31 日現在）

（単位：件）

区分＼資格等		救急救命士	救急標準課程及び救急課修了者	救急Ⅱ課程修了者	計
救急隊員	専任				
	兼任	21	19	2	42
その他			4		4
計		21	23	2	46

６－９　応急手当普及啓発活動実施状況（令和 7 年中）

（単位：件）

署＼講習内容	応急手当指導員		上級救命講習		普通救命講習		救命入門コース		一般救命講習	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
本署					5	30			32	969

救助統計



７　救助統計

７－１　救助出動状況

（単位：件）

件数／年度	救助出動件数	救助活動件数	救助人員
令和３年	27	26	31
令和４年	28	28	35
令和５年	23	20	26
令和６年	29	24	33
令和７年	21	16	22

７－２　事故種別救助活動状況（令和７年中）

（単位：件）

種別／件数	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	計
出動件数		8	2		1				10	21
活動件数		7	1		1				7	16
救助人員		9	2		1				10	22

７－３　地区別出動件数及び救助人員（令和７年中）

（単位：件）

地区別	事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	計
高田	出動件数		3							7	10
	活動件数		3							4	7
	救助人員		4							7	11
真玉	出動件数		3							1	4
	活動件数		3							1	4
	救助人員		3							1	4
香々地	出動件数		2	2		1				2	7
	活動件数		1	1		1				2	5
	救助人員		2	2		1				2	7
合計	出動件数		8	2		1				10	21
	活動件数		7	1		1				7	16
	救助人員		9	2		1				10	22

７－４　月別出動件数及び救助人員（令和７年中）

（単位：件）

種別／件数		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	計
1月	出動件数									1	1
	活動件数									1	1
	救助人員									1	1
2月	出動件数		2							1	3
	活動件数		2							1	3
	救助人員		2							1	3
3月	出動件数		1								1
	活動件数		1								1
	救助人員		1								1
4月	出動件数		1								1
	活動件数		1								1
	救助人員		1								1
5月	出動件数									1	1
	活動件数									1	1
	救助人員									1	1
6月	出動件数										
	活動件数										
	救助人員										
7月	出動件数										
	活動件数										
	救助人員										
8月	出動件数			1						4	5
	活動件数			1						2	3
	救助人員			1						4	5
9月	出動件数		2			1				1	4
	活動件数		1			1					2
	救助人員		2			1				1	4
10月	出動件数			1							1
	活動件数										
	救助人員			1							1

11月	出動件数		2								2
	活動件数		2								2
	救助人員		3								3
12月	出動件数									2	2
	活動件数									2	2
	救助人員									2	2
合計	出動件数		8	2		1				10	21
	活動件数		7	1		1				7	16
	救助人員		9	2		1				10	22

７－５　救助隊が使用する主な保有資機材(令和７年度末)

分類	品　　名	員数
一般救助用器具	かぎ付はしご	1
	三連はしご	2
	空気式救助マット	1
	救命索発射銃（水難兼用）	1
	救助用縛帯(ｻﾊﾞｲﾊﾞｰｽﾘﾝｸﾞ)	1
	平担架	1
	ショートボード	1
	ロープ	6
	カラビナ	20
	滑車	5
切断用器具	エンジンカッター	2
	チェーンソー	2
	鉄線カッター	1
	グラスソー	1
	大型油圧切断機一式	2
	ガス溶断器一式	1
水難救助用器具	救命胴衣	7
	フロートロープ	3
	水中ライト	5
	救命浮環	2
	救命ボート一式	2
	船外機一式	1
	救命索発射銃	0

分類	品　　名	員数
山岳用	バスケット型担架	2
重量物排除用器具	大型油圧式ジャッキー式	1
	可般式ウインチ	1
	ワイヤーロープ	6
	マット型空気ジャッキー式	1
	大型油圧スプレッダー	2
破壊用器　具	万能斧	1
	ハンマー	1
測定用器具	酸素、可燃性ガス測定器	1
	有毒ガス測定器	1
呼吸保護用器具	空気呼吸器	5
隊員保護用器具	革手袋	5
	フルボディハーネス	6
	耐電手袋	3
	防塵メガネ	5
	防塵マスク	5
	耐熱服	1
生物・科学テロ対応資機材	陽圧式化学防護服	2
	除染シャワー一式	0
	除染剤散布器一式	0
	簡易型防護服	5
	被除染者用簡易服	0

７－６　救助隊の教育訓練（令和７年度中）

区　分	体力錬成訓練	ロープ基本応用訓練	結索救助訓練	各種救助器具取扱訓練	各種救助事象想定訓練	その他の訓練	計
実施延回数（回）	230	100	30	60	30	10	460
実施延べ人員（人）	1,150	500	150	300	150	40	2,290
実施延時間（時間）	460	110	90	120	75	20	875

７－７　大分県救助大会の出場状況

（単位：チーム、人）

種目／年度	ロープブリッジ渡過	ロープ登はん	はしご登はん	ロープ応用登はん	ロープブリッジ救出	ほふく救出	技術訓練	出場人員
令和３年度			開催中止					
令和４年度						2		6
令和５年度					1	2		8
令和６年度					2	2		10
令和７年度			1		2	2		11

消防団

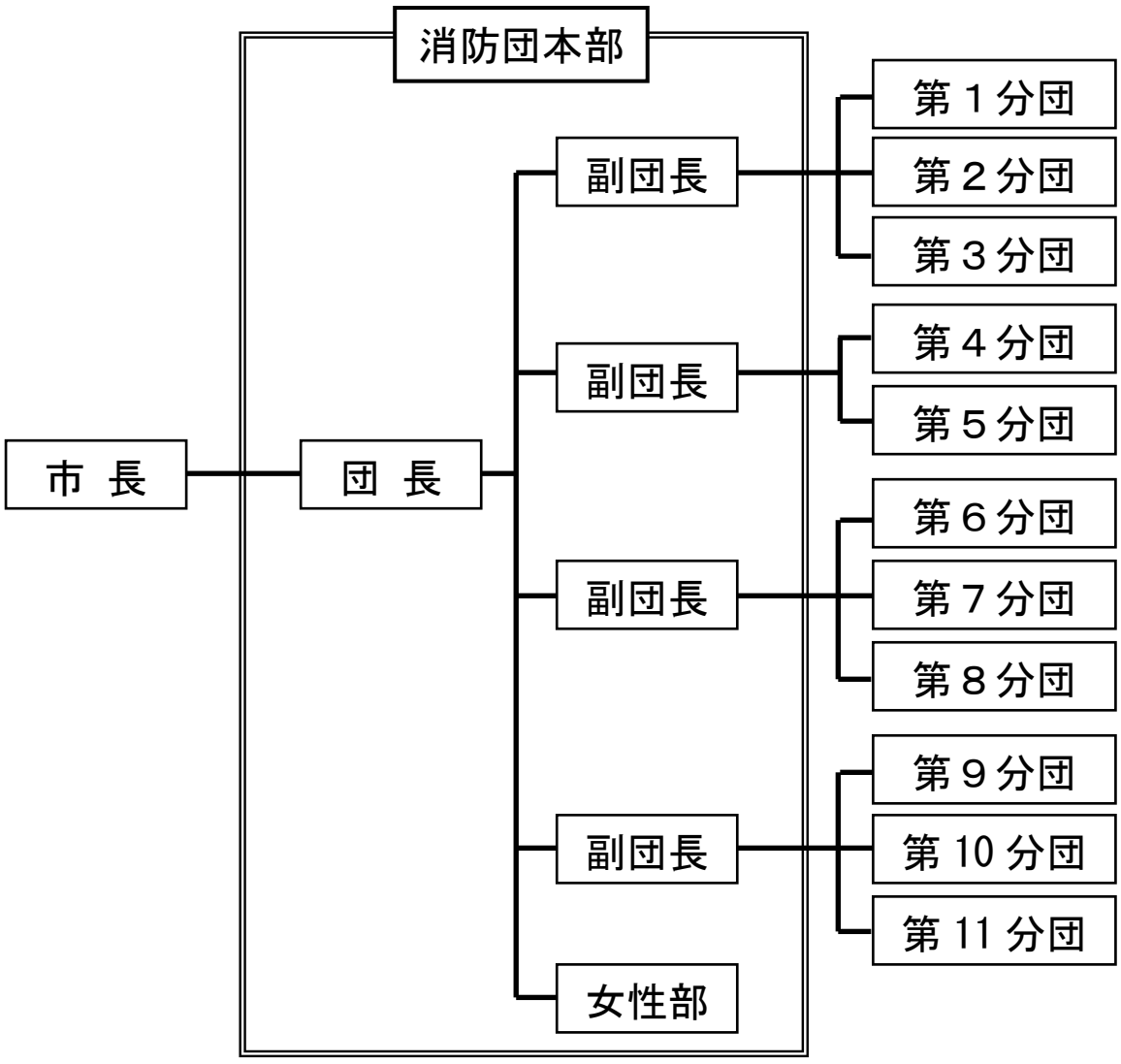


８　消防団

８－１　歴代消防団長

氏　　名	在　職　期　間	備考
伊　藤　元　一	平成 17 年 3 月 31 日～ 平成 18 年 3 月 31 日	H13.11.1～ （旧豊後高田市）
中　村　寿　志	平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	
嶋　川　岩　男	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	
岩　尾　芳　秀	令和 8 年 4 月 1 日～ 現在	

８－２　機構図・組織



８－３　名称・位置・管轄区域

名　　称：豊後高田市消防団

消防団本部：豊後高田市御玉 147 番地

中隊名	分団名	部　名	地区名	管轄区域
第一中隊	第１分団 （第１小隊）	第１部 第２部 第３部 第４部	高田	是永町・水取・本町・鍛治屋町・浜町・ 金谷町・新町・今町・高田・界・来縄・水崎
	第２分団 （第２小隊）	第１部 第２部 第３部 第４部	桂陽	鼎・かなえ台・払田・美和・御玉・ 玉津・新栄
	第３分団 （第３小隊）	第１部 第２部 第３部	河内	森・佐野・小田原
		第４部 第５部 第６部 第７部	田染	田染横嶺・田染小崎・田染真中・田染真木 田染平野・田染上野・田染相原・田染池部 田染蕗
第二中隊	第４分団 （第１小隊）	第１部 第２部 第３部 第４部 第５部 第６部	都甲	一畑・加礼川・梅木・新城・長岩屋・ 松行・築地・荒尾・大力
	第５分団 （第２小隊）	第１部 第２部 第３部	草地	焼野・向・門・近広・本村・古城・長添・ 畑・猫石・芝場・黒松・米山
		第４部 第５部 第６部	呉崎	呉崎

第三中隊	第６分団 （第１小隊）	第１部 第２部 第３部	中真玉	浜・恵良・西畑・庄屋・常盤
		第４部 第５部 第６部	上真玉	城前・大岩屋・黒土
	第７分団 （第２小隊）	第１部 第２部 第３部 第４部 第５部	西真玉	猫石・徳六・大村・金屋・大平
	第８分団 （第３小隊）	第１部 第２部 第３部 第４部 第５部	臼野	小林・臼野浜・時安・西村・磯・三友・中部 横山・尾鷲・浜・徳久保
第四中隊	第９分団 （第１小隊）	第１部 第２部 第３部 第４部 第５部	香々地	浜殿・西浜・叶渕・見目
	第 10 分団 （第２小隊）	第１部 第２部 第３部 第４部 第５部 第６部	三浦	羽根・松津・堅来・中村・小畑・小池
	第 11 分団 （第３小隊）	第１部 第２部 第３部	三重	佐古・長小野・前田・夷
計		５７部		

８－４　消防団車両配備状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

分団名	部	ポンプ自動車（台）	小型ポンプ付積載車（台）	経過年数	分団名	部	ポンプ自動車（台）	小型ポンプ付積載車（台）	経過年須
第１分団	第 1 部	1		10	第６分団	第 3 部		1	8
	第 2 部	1		4		第 4 部		1	20
	第 3 部		1	25		第 5 部		1	20
	第 4 部		1	33		第 6 部		1	13
第２分団	第 1 部	1		5	第７分団	第 1 部		1	20
	第 2 部		1	35		第 2 部		1	9
	第 3 部		1	32		第 3 部		1	20
	第 4 部		1	3		第 4 部		1	9
第３分団	第 1 部		1	4		第 5 部		1	9
	第 2 部		1	23	第８分団	第 1 部		1	8
	第 3 部		1	35		第 2 部		1	8
	第 4 部		1	28		第 3 部		1	20
	第 5 部		1	31		第 4 部		1	18
	第 6 部		1	30		第 5 部		1	20
	第 7 部		1	28	第９分団	第 1 部		1	20
第４分団	第 1 部		1	23		第 2 部		1	20
	第 2 部		1	23		第 3 部		1	14
	第 3 部		1	34		第 4 部		1	17
	第 4 部		1	28		第 5 部		1	17
	第 5 部		1	1	第 10 分団	第 1 部		1	18
	第 6 部		1	28		第 2 部		1	1
第５分団	第 1 部		1	23		第 3 部		1	3
	第 2 部		1	32		第 4 部		1	16
	第 3 部		1	30		第 5 部 1		1	3
	第 4 部		1	31		第 5 部 2		1	20
	第 5 部		1	23		第 6 部		1	4
	第 6 部		1	36	第 11 分団	第 1 部		1	20
第６分団	第 1 部		1	20		第 2 部		1	20
	第 2 部		1	20		第 3 部		1	36
					合　計	57 部	3	55	

８－５　消防団員条例定数及び実員数（令和７年４月１日現在）

（単位：人）

区分				条例定数									実人員									増減	
今回充足率 ＼ 階級				団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	部計	本部計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	部計	本部計	部増減	本団増減
本部				1	4	－	－	－	－	－	－	5	1	4			1	1	4	6	11	6	6
女性部				－	－	－	－	－	－	－	－	－					1	1	6				
分団	充足率（%）	部	管轄			分団長	副分団長	部長	班長	団員	部計	分団計			分団長	副分団長	部長	班長	団員	部計	分団計	部増減	分団増減
第１分団	92.3	1	来縄			1	1	1	3	11	15	52			1	1	1	3	10	14	48	−1	−4
		2	新地					1	3	11	15						1	3	9	13		−2	
		3	白石					1	3	6	10						1	3	6	10		0	
		4	水崎					1	3	6	10						1	3	5	9		−1	
第２分団	97.8	1	上町			1	1	1	3	11	15	46			1	1	1	3	10	14	45	−1	−1
		2	志手町					1	3	6	10						1	3	7	11		1	
		3	川原					1	3	6	10						1	3	6	10		0	
		4	払田					1	3	5	9						1	2	5	8		−1	
第３分団	109.6	1	森			1	1	1	3	5	9	62			1	1	1	3	5	9	68	0	−3
		2	河内					1	3	6	10						1	3	6	10		0	
		3	小田原					1	3	6	10						1	3	6	10		0	
		4	横嶺					1	3	6	10						1	3	6	10		0	
		5	間戸					1	3	6	10						1	3	5	9		−1	
		6	相原					1	3	6	10						1	3	5	9		−1	
		7	蕗					1	3	6	10						1	3	5	9		−1	
第４分団	88.7	1	新城			1	1	1	3	6	10	62			1	1	1	3	6	10	55	0	−7
		2	百塚					1	3	6	10						1	3	3	7		−3	
		3	加礼川					1	3	6	10						1	3	4	8		−2	
		4	長岩屋					1	3	6	10						1	3	6	10		0	
		5	築地					1	3	6	10						1	3	5	9		−1	
		6	荒尾					1	3	6	10						1	3	5	9		−1	
第５分団	91.9	1	古城			1	1	1	3	6	10	62			1	1	1	3	5	9	57	−1	−5
		2	門					1	3	6	10						1	3	6	10		0	
		3	猫石					1	3	6	10						1	3	6	10		0	
		4	呉崎					1	3	6	10						1	3	5	9		−1	
		5	呉崎					1	3	6	10						1	3	5	9		−1	
		6	呉崎桂					1	3	6	10						1	3	4	8		−2	

第6分団	77.0	1	浜下			1	1	1	3	6	10	61			1	1	1	3	4	8	47	-2	-14
		2	庄屋					1	3	5	9						1	3	1	5		-4	
		3	常盤					1	3	6	10						1	3	5	9		-1	
		4	城前					1	3	6	10						1	3	5	9		-1	
		5	下黒土					1	3	6	10						1	3	4	8		-2	
		6	上黒土					1	3	6	10						1	3	2	6		-4	
第7分団	70.5	1	湯原			1	1	1	3	5	9	51			1	1	1	3	1	5	36	-4	-15
		2	徳六					1	3	6	10						1	3	2	6		-4	
		3	大村					1	3	6	10						1	3	4	8		-2	
		4	金屋					1	3	6	10						1	3	3	7		-3	
		5	大平					1	3	6	10						1	3	4	8		-2	
第8分団	94.2	1	時安			1	1	1	3	6	10	52			1	1	1	3	6	10	49	0	-3
		2	西村					1	3	6	10						1	3	6	10		0	
		3	中部					1	3	6	10						1	3	6	10		0	
		4	横山					1	3	6	10						1	3	4	8		-2	
		5	尾鷲					1	3	6	10						1	3	5	9		-1	
第9分団	93.5	1	浜殿			1	1	1	3	9	13	62			1	1	1	3	9	13	58	0	-4
		2	西浜					1	3	9	13						1	3	9	13		0	
		3	叶渕					1	3	9	10						1	3	4	8		-2	
		4	見目上					1	3	9	13						1	3	7	11		-2	
		5	見目下					1	3	7	11						1	2	8	11		0	
第10分団	73.9	1	羽根下			1	1	1	3	9	13	73			1	1	1	3	7	11	54	-2	-19
		2	松津					1	3	6	10						1	3	2	6		-4	
		3	羽根上					1	3	7	11						1	3	3	7		-4	
		4	堅来					1	3	7	11						1	3	7	11		0	
		5	中村					1	3	11	15						1	3	6	10		-5	
		6	小池					1	3	7	11						1	2	4	7		-4	
第11分団	91.6	1	長小野			1	1	1	3	6	10	36			1	1	1	3	0	4	33	-6	-3
		2	夷					1	3	9	13						1	3	11	15		2	
		3	佐古					1	3	7	11						1	3	8	12		1	
合　計						11	11	57	171	378	606	628			11	11	57	168	303	528	550	-78	-78
総合計				633									561									-72	

※条例定数については、総枠の規定となっているため分団及び部の定数については、
規定根拠なし。

８－６　消防団別勤務年数表（令和７年４月１日現在）

（単位：人）

勤務年数 / 分団別	５年未満	５年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合　計
団　本　部	1	1	4	0	0	0	5	11
第１分団	13	7	8	5	6	2	7	48
第２分団	11	1	8	10	4	4	7	45
第３分団	19	16	11	9	7	3	4	69
第４分団	9	7	7	9	3	12	8	55
第５分団	3	22	9	6	5	7	5	57
第６分団	1	5	13	11	6	6	5	47
第７分団	7	3	2	8	6	5	5	36
第８分団	9	6	10	2	7	7	8	49
第９分団	4	6	6	4	5	21	11	57
第10分団	7	8	8	11	3	6	11	54
第11分団	4	6	4	1	5	4	9	33
合　計	88	88	90	76	57	77	85	561

８－７　消防団員年齢表（令和７年４月１日現在）

（単位：人）

階級／年齢	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	合　計
18 歳未満								
18 歳以上 20 歳未満								
20 歳以上 25 歳未満							4	4
25 歳以上 30 歳未満						3	10	13
30 歳以上 35 歳未満					1	5	25	31
35 歳以上 40 歳未満					4	17	32	53
40 歳以上 45 歳未満					7	29	41	77
45 歳以上 50 歳未満				3	10	40	51	104
50 歳以上 55 歳未満			2	1	17	34	62	116
55 歳以上 60 歳未満			2	3	9	20	37	71
60 歳以上 65 歳未満		2	4	2	5	10	20	43
65 歳以上	1	2	3	2	5	12	24	49
合　計	1	4	11	11	58	170	306	561
平均年齢（歳）	69	66.5	62.9	56.8	51.9	48.9	48.04	49.3

８－８　消防団員表彰受賞状況

（単位：人）

区別 ＼ 年度		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
叙勲（春・秋）	瑞宝双光章					
	瑞宝単光章		2	2	1	1
消防庁長官	功労章				1	
	永年勤続功労章		2		6	1
大分県知事	功労章					
	永年勤続功労章	1	2	2	2	2
日本消防協会長	功績章	1	1	1		1
	精績章			2	1	8
	勤続章	9	9	2	11	11
大分県消防協会長	特別功労章（1・2級）					
	35年勤続功労章	4	7	6	3	4
	30年勤続功労章	6	8	7	10	12
	25年勤続功労章	17	18	16	21	18
	20年勤続功労章	13	19	15	13	13
	感謝状(退団者)15年以上功労賞	16		28	14	12
豊後高田市長表彰・豊後高田市消防協会長表彰	15年勤続功労章	1	17	19	9	16
	10年勤続功労章	25	14	24	20	23
	感謝状（退団者）	15	13	19	13	9
豊後高田市消防団長表彰					6	
合計		108	112	143	131	131

８－９　消防団員の消防学校等入校状況

（単位：人）

区分＼年度			令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
消防団幹部候補中央特別研修（日本消防協会）							
基礎教育				2	1	1	
専科教育	警防・機関科						
幹部教育	初級幹部科						
	指揮幹部科	現場指揮課程		2			
		分団指揮課程		1			
特別教育	操法科		5	5		6	
	訓練礼式指導員養成科						
	ポンプ操法指導員養成科						2
	女性消防団員研修（隔年）						
	現地教育訓練						
	一日入校						
	防災指導員養成科						
	火災防ぎょ研修						

８－10　階級別消防団員報酬（令和７年４月１日現在）

（単位：円）

区分＼階級	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
年額報酬	130,000	90,000	65,000	45,500	40,000	37,000	36,500
出動報酬	水火災・その他の災害　日額　8,000 円（4 時間未満の場合は 4,000 円） 行方不明者捜索　日額　8,000 円（4 時間未満の場合は 4,000 円） 警　戒　1 回につき 3,000 円 訓　練　1 回につき 3,000 円 その他　1 回につき 3,000 円						

８－11　消防団相互応援協定締結状況

【相互応援協定】　令和８年３月 31 日現在

協定名称	締結市町村名等	締結の内容	締結年月日
大分県消防団相互応援協定	大分県下１４市３町１村	市町村境界付近の火災や大規模災害における応援出動	平成 25 年４月１日

資料編



歴代全国統一防火標語（昭和 55 年～令和 7 年）

暦　年	内　　容
昭和５５年	あなたです！　火事を出すのも　防ぐのも
昭和５６年	毎日が　防火デーです　ぼくの家
昭和５７年	火の用心　心で用心　目で用心
昭和５８年	点検は　防火のはじまり　しめくくり
昭和５９年	“あとで”より　“いま”が大切　火の始末
昭和６０年	怖いのは　「消したつもり」と　「消えたはず」
昭和６１年	防火の大役　あなたが主役
昭和６２年	消えたかな！　気になるあの火　もう一度
昭和６３年	その火　その時　すぐ始末
平成　元年	おとなりに　あげる安心　火の始末
平成　２年	まず消そう　火への鈍感　無関心
平成　３年	毎日が　火の元警報　発令中
平成　４年	点検を　重ねて築く　“火災ゼロ”
平成　５年	防火の輪　つなげて広げて　なくす火事
平成　６年	安心の　暮らしの中心　火の用心
平成　７年	災害に　備えて日頃の　火の用心
平成　８年	便利さに　慣れて忘れる　火のこわさ
平成　９年	つけた火は　ちゃんと消すまで　あなたの火
平成１０年	気をつけて　はじめはすべて　小さな火
平成１１年	あぶないよ　ひとりぼっちにした　その火
平成１２年	火をつけた　あなたの責任　最後まで
平成１３年	たしかめて。　火を消してから　次のこと
平成１４年	消す心　置いてください　火のそばに
平成１５年	その油断　火から炎へ　災いへ
平成１６年	火は消した？　いつも心に　きいてみて
平成１７年	あなたです　火のあるくらしの　見はり役
平成１８年	消さないで　あなたの心の　注意の火
平成１９年	火は見てる　あなたが離れる　その時を
平成２０年	火のしまつ　君がしなくて　誰がする
平成２１年	消えるまで　ゆっくり火の元　にらめっ子
平成２２年	「消したかな」　あなたを守る　合言葉
平成２３年	消したはず　決めつけないで　もう一度
平成２４年	消すまでは　出ない行かない　離れない

平成２５年	消すまでは　心の警報　ON のまま
平成２６年	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成２７年	無防備な　心に火災が　かくれんぼ
平成２８年	消しましょう　その火その時　その場所で
平成２９年	火の用心　ことばを形に　習慣に
平成３０年	忘れてない？　サイフにスマホに火の確認
平成３１年	ひとつずつ　いいね！で確認　火の用心
令和２年	その火事を　防ぐあなたに　金メダル
令和３年	おうち時間　家族で点検　火の始末
令和４年	お出かけは マスク戸締り 火の用心
令和５年	火を消して　不安を消して　つなぐ未来
令和６年	守りたい 未来があるから 火の用心
令和７年	急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

気象観測情報

（令和７年１月１日～令和７年 12 月 31 日）

＊雨量・温度・風速のデータは気象庁 HP より引用

（１）雨量

（単位：㎜）

月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	計
総雨量	20.5	37.5	108.0	42.0	146.5	246.5	11.5	172.0	66.0	86.5	7.5	35.5	980.0
日最大	11.5	26.5	18.0	8.0	35.5	104.0	6.0	73.0	23.0	37.0	4.0	12.5	

（２）温度

（単位：℃）

月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	年間平均
最高	9.8	8.3	14.9	20.4	23.7	28.2	33.9	34.0	31.5	25.9	18.5	14.0	
最低	1.0	−0.4	6.1	8.9	14.1	20.1	24.6	24.8	23.4	17.6	8.1	4.0	
平均	5.2	4.1	10.4	14.6	18.7	23.8	28.7	28.6	26.8	21.2	13.2	9.1	17. 0

（３）風速

（単位：ｍ）

	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	年間平均
最大	16.0	19.5	21.6	17.1	14.8	12.0	13.2	10.5	14.2	12.1	16.9	18.6	
平均	4.2	5.1	4.2	3.6	4.1	2.5	3.6	2.5	2.7	2.7	3.4	4.1	3.5

緊急消防援助隊編成表

（令和８年４月１日現在）

小隊名	任務	役職	人数
消火小隊	主として被災地における消火活動の実施	隊　長	１人
		副隊長	１人
		隊　員	２人
救助小隊	主として被災地における救助活動の実施	隊　長	１人
		副隊長	１人
		隊　員	３人
安全管理部隊（救急小隊）	主として被災地における隊の活動にともなう安全管理	隊　長	１人
		副隊長	１人
		隊　員	１人
救急小隊	主として被災地において救急活動の実施	隊　長	１人
		副隊長	１人
		隊　員	１人

ＡＥＤの設置状況①

公的施設（71箇所）

施設名	施設名
高田小学校	高田市民グラウンド
桂陽小学校	丘の公園スポーツ広場
河内小学校	健康交流センター花いろ
都甲小学校（戴星学園）	スパランド真玉
草地小学校	夷谷温泉
呉崎小学校	昭和ロマン蔵

田染小学校	玉津座銀鈴堂
真玉小学校	デイサービスセンター周防苑
臼野小学校	豊後高田市老人介護支援センター
香々地小学校	豊後高田警察署
三浦小学校	北部保健所豊後高田保健部
旧都甲小学校（武道場）	豊後高田簡易裁判所
高田中学校	市役所高田庁舎
河内中学校	市役所真玉庁舎（真玉公民館兼用）
田染中学校	市役所香々地庁舎（香々地公民館兼用）
真玉中学校	消防本部
香々地中学校	夢いろ幼稚園
高田高等学校	キラリいろ幼稚園
香々地青少年の家	香々地保育所
中央公民館	たかだ児童クラブ(高田小)
水崎公民館	なかよし児童クラブ（桂陽小）
河内公民館	たんぽぽ児童クラブ（旧河内幼稚園）
田染甲公民館	田染っ子児童クラブ（旧田染幼稚園）
西都甲公民館	都甲っ子児童クラブ（旧都甲幼稚園）
東都甲公民館	わこう児童クラブ（旧呉崎幼稚園）
呉崎公民館	またま児童クラブ（旧真玉幼稚園）
香々地公民館	浦っ子児童クラブ（三浦小）
高田体育センター	かかぢ児童クラブ（香々地小）
真玉体育センター	花っ子ルーム
Ｂ＆Ｇ海洋センター	おひさまひろば
真玉市民グラウンド	豊後高田シルバー人材センター
香々地市民グラウンド	桂川ふれあいセンター
地域総合支援センター（どんぐり河内）	花っこルーム香々地
デイサービスセンターふれあい館	長崎鼻リゾートキャンプ場
香々地体育センター	真玉海岸観光交流拠点施設　令和６年追加
豊後高田市老人介護支援センター	

ＡＥＤの設置状況②

民間事業所等（52箇所）

事業所等名	事業所等名
封戸保育園	特別養護老人ホーム真寿苑
城台保育園	松成歯科医院
和光保育園	サンクリニック
河内保育園	草地公民館
あすなろほいくえん（田染保育園）	香々地３区自主防災会
真玉保育園	高島地区自主防災会
高田中央病院	臼野浜小林地区自主防災会
玄々堂高田病院	新町１地区自主防災会
せぐち内科	エーワン豊後高田店
みずのえ呼吸器内科クリニック	株式会社住理工九州
安部内科	株式会社サミットスチール大分工場
ながまつ内科・小児科クリニック	株式会社ヒロテック大分工場
医療法人積善会　千嶋病院	ムラテックメカトロニクス株式会社大分工場
特別養護老人ホーム　やすらぎの里	ヤクルトヘルスフーズ株式会社
介護老人保健施設　希の里	(株)エイチワン豊後高田工場
医療法人真萌会　原田医院	土屋製作所　大分工場
うえきデンタルクリニック	(株)東プラスチック・エンジニアリング
京極歯科医院	(株)東陽九州
(株)キャム	旭鋼管九州(株)

山宗株式会社	西日本土木株式会社
ライフコート高田中央	(株)中村建材
(有)豊の里自動車学校	(株)豊洋メット
(株)湯川鉄工所　九州工場	(株)ナカノ
コロン株式会社　大分工場	障害者支援施設　コスモス
(株)住理工大分AE	みずほ育成会
西日本土木株式会社　生コン部	千代田産業真玉工場

合計　123箇所（±０）

＜市指定避難所・避難場所＞

小学校区	避難地区	指定避難所	海抜（m）	備　考
高　田	高田地区 水崎地区 来縄地区 界地区	高田小学校	4.04	津波避難時 2 階以上
		隣保館	4.63	津波避難時 2 階以上
		西土井集会所	7.16	
		白石集会所	6.89	
		犬田老人憩の家	10.00	
		楢林老人憩の家	8.60	
		高田市民グランド	13.80	
		来縄児童公園	12.92	
		白石児童公園	9.36	
		割掛遺跡公園	17.50	
桂　陽	玉津地区 新栄地区 美和地区 払田地区	高田中学校	18.95	体育館・グラウンド
		桂陽小学校	12.42	体育館・グラウンド
		大分県立高田高等学校	16.60	体育館・グラウンド
		中央公民館	12.08	
		健康交流センター	11.69	
		旧美和分校グラウンド	35.02	
		中核工業団地「丘の公園」	90.81	
河　内	佐野地区 森地区 小田原地区	河内中学校	28.05	体育館・グラウンド
		河内小学校	28.85	体育館・グラウンド
		河内公民館	28.80	
田　染	田染地区	田染中学校	86.79	体育館・グラウンド
		田染小学校	86.85	体育館・グラウンド
都　甲	東都甲地区 西都甲地区	東都甲公民館	130.13	
		並石ダムグリーンランドこっとん村	208.70	
		都甲小学校体育館	78.03	体育館・グラウンド
		都甲中学校	72.08	体育館・グラウンド
		西都甲公民館	57.42	
草　地	草地地区	草地小学校	6.08	体育館・グラウンド
		草地公民館	9.77	
呉　崎	呉崎地区	和光保育園園庭	6.40	
真　玉	中真玉地区 西真玉地区 上真玉地区	真玉公民館	4.76	津波避難時 3 階以上
		真玉体育センター	15.76	
		旧真玉火葬場跡地	28.10	
		旧真玉小学校グラウンド	20.36	
		大村グラウンド	16.24	
		真玉小学校	20.37	体育館・グラウンド

		旧上真玉小学校グラウンド	58.95	
	臼野地区	臼野公民館	12.88	
		臼野小学校	19.51	体育館・グラウンド
		真玉市民グランド	26.35	
		粟島公園	27.20	
香々地	三重地区	旧三重小学校	61.08	体育館・グラウンド
	三浦地区	三浦小学校	13.17	体育館・グラウンド
	見目地区 香々地地区	香々地中学校	7.16	体育館・グラウンド
		香々地公民館	7.64	
		香々地グラウンド	42.00	
		長崎鼻リゾートキャンプ場	18.70	体育館・グラウンド
		大分県立香々地青少年の家	30.94	体育館・グラウンド

＜津波避難ビル＞

協定締結ビル名称	所在地	構　造	収容可能人員
ＮＴＴ豊後高田ビル	豊後高田市高田宮町 744 番地	鉄筋コンクリート 4 階建	460 名
九州特殊土木株式会社	豊後高田市高田 2878 番地	鉄筋コンクリート 3 階建	270 名
加宝インテックビル	豊後高田市金谷町 1185 番地	鉄筋コンクリート 5 階建	220 名
エクレールＮＲＥ	豊後高田市新町 988 番地	鉄筋コンクリート 7 階建	300 名
パークサイド野上Ⅱ	豊後高田市新地 1017 番地	鉄筋コンクリート 5 階建	160 名

＜福祉避難所＞

施設名称	所在地	海　抜	受入可能人員
障害者支援施設コスモス	豊後高田市美和 1684 番地	35m	60 名
健康交流センター花いろ	豊後高田市美和 1335 番地 1	11m	10 名
並石ダムグリーンランドこっとん村	豊後高田市一畑 1587 番地	208m	5 名
特別養護老人ホーム　真寿苑	豊後高田市臼野 4298 番地 3	25m	25 名
デイサービスセンター真寿苑	豊後高田市臼野 4298 番地 3	25m	5 名
デイサービスセンター周防苑	豊後高田市臼野 4335 番地 3	25m	20 名
豊後高田市老人介護支援センター	豊後高田市臼野 4335 番地 3	25m	10 名
豊後高田市生活支援ハウス	豊後高田市見目 104 番地	7m	20 名
養護老人ホーム　六郷園	豊後高田市新地 1274 番地	4m	17 名
特別養護老人ホーム　やすらぎの里	豊後高田市呉崎 755 番地 1	2m	16 名
スパランド真玉	豊後高田市城前 156 番地 1	34m	22 名
香々地青少年の家	豊後高田市香々地 5151 番地	31m	16 名

消　防　年　報

（令和７年版）

編集・発行　豊後高田市消防本部
〒879-0605
大分県豊後高田市御玉 147 番地
TEL：0978-22-3108　FAX：0978-22-3542